

会議録（書面決議）

名 称	令和2年度 岸和田市地域公共交通協議会 幹事会														
提案日	令和2年5月8日（金）書面決議														
出席者 幹事 5名 うち 出席 5名	<table border="1"> <tr> <td>堤</td><td>松下</td><td>多和</td><td>芥子</td><td>梶川</td></tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </table>					堤	松下	多和	芥子	梶川	○	○	○	○	○
堤	松下	多和	芥子	梶川											
○	○	○	○	○											
傍聴者	0名														
<<概要>> ■議事 第1号議案 令和元年度 決算について 第2号議案 令和2年度 予算(案)について															
■会長より各幹事に対し提案 岸和田市地域公共交通協議会 幹事会規定第5条第1項に基づき書面による決議をするものです。 ご承認いただける場合は別紙「承認書」に署名、捺印の上、令和2年6月1日までにご提出いただきたく存じます。 第1号議案 令和元年度 決算について → 財務規程第9条第1項の規定により、承認を求める。 第2号議案 令和2年度 予算(案)について → 財務規程第2条第2項の規定により、承認を求める。															
■結果 松下幹事：承認（令和2年5月14日付） 多和幹事：承認（令和2年5月12日付） 芥子幹事：承認（令和2年5月14日付） 梶川幹事：承認（令和2年5月13日付）															

第1号議案 令和元年度決算について

令和元年度 岸和田市地域公共交通協議会 決算

歳入決算額 312,480 円

歳出決算額 312,480 円

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算額	決算額	差引	備 考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	520,000	312,478	-207,522	岸和田市負担金
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	0	2	2	預金利子
歳入合計			520,000	312,480	-207,520	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算額	決算額	差引	備 考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	520,000	312,480	-207,520	報償及び費用弁償
	2 事務費	1 事務費	0	0	0	
2 事業費	1 事業費	1 事業費	0	0	0	
3 予備費	1 予備費	1 予備費	0	0	0	
歳出合計			520,000	312,480	-207,520	

歳入歳出決算額差引残高(翌年度繰越金)

312,480 円 - 312,480 円 = 0 円

監査報告書

令和元年度決算を監査したところ、収支計算書、その他の関係書類と係数が符合し、適正に執行されていることを認める。

令和2年3月31日

岸和田市地域公共交通協議会

監 事 吉 野 富 博

監 事 小 川 彰 晴

第2号議案 令和2年度予算(案)について

令和2年度 岸和田市地域公共交通協議会 予算(案)

歳入予算額 533,000 円

歳出予算額 533,000 円

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	金 額	備 考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	533,000	岸和田市負担金
2 補助金	1 補助金	1 補助金		
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金		
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入		
歳入合計			533,000	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	金 額	備 考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	533,000	報償及び費用弁償 (11名×5回)
	2 事務費	1 事務費		
2 事業費	1 事業費	1 事業費		
3 予備費	1 予備費	1 予備費		
歳出合計			533,000	

構成委員の変更について

規約第 5 条の区分		所属・職名	氏名	備考
第 1 号	岸和田市長又は その指名する者	岸和田市副市長	(旧) 土佐 邦之 (新) 堤 勇二	
		岸和田市まちづくり推進部 部長	(旧) 吉田 政裕 (新) 松下 貴志	
		岸和田市福祉部 部長	(旧) 津村 昭人 (新) 山本 美和	
		岸和田市魅力創造部 部長	(旧) 大西 吉之助 (新) 前田 淳	
		岸和田市建設部 部長	(旧) 澁谷 泰隆 (新) 吉田 政裕	
		岸和田市教育総務部 部長	(新) 藤浪 秀樹	追加
第 5 号	公安委員会の長 又はその指名する者	岸和田警察署 交通課 課長	(旧) 石田 弘治 (新) 榊 敏安	
第 6 号	住民又は旅客	岸和田市老人クラブ連合会 理事	(旧) 山中 敏彦 (新) 清遠 豊	
		岸和田市が選定する(公募) 市民	(旧) 北口 仁士 (新) 和田 隆	
		岸和田市が選定する(公募) 市民	(旧) 水内 洋樹 (新) 稲内 一夫	
第 8 号	大阪運輸支局長 又はその指名する者	大阪運輸支局 首席運輸企画専門官(総務企画)	(旧) 後藤 孝行 (新) 本田 泰彦	
		大阪運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送)	(旧) 小森 成人 (新) 河原 正明	
第 9 号	関係行政機関の 職員	国土交通省 近畿地方整備局 建政部 都市整備課 課長	(旧) 鈴木 豪 (新) 崎谷 唯比古	

(敬称略)

これまで〔H27～R元年度〕の取組みについて

平成27年度 協議会設立（2回実施）

交通まちづくりアクションプラン
【基本計画編】策定に向けた検討・討議

平成28年度 協議会（4回実施）

交通まちづくりアクションプラン
【基本計画編】・【公共交通編】策定に向けた検討・討議

平成29年度 協議会（5回実施）

交通まちづくりアクションプラン
【基本計画編】・【公共交通編】・【総合交通戦略編】策定
に向けた検討・討議

平成30年度 協議会（2回実施）

交通まちづくりアクションプラン
【公共交通編】施策の実施

令和元年度 協議会（2回実施）

交通まちづくりアクションプラン
【公共交通編】・【総合交通戦略編】施策の実施

計画策定

「岸和田市地域公共交通網形成計画」

平成29年11月策定 国土交通大臣送付

計画策定

「岸和田市総合交通戦略」

平成31年2月18日 国土交通大臣認定

施策実施

【公共交通編】・【総合交通戦略編】施策
の取り組み

- ・路線バスの利便性向上策（H29.4～）
- ・ローズバスの広告パートナー制度を利用
した時刻表の作成・配布
- ・ローズバスの改正（H31.2.1実施）
- ・地域が主体となって運行する地域バス

今後の取組みについて

今後の取組みについて

・・・ **岸和田市交通まちづくりアクションプラン** ・・・

基本計画編

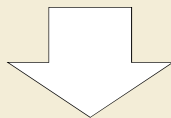
- ・計画の位置付け 等
- ・本市の現況と交通の現状
- ・都市活動 交通の将来動向
- ・都市活動 交通に関する課題
- ・基本的な方針

(【基本計画編】P.4より)



公共交通編

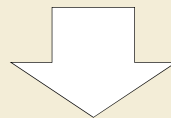
「岸和田市地域公共交通網形成計画」
平成29年11月策定



進行管理

総合交通戦略編

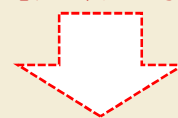
「岸和田市総合交通戦略」
平成31年2月策定



進行管理

**バリアフリー
基本構想編**

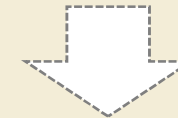
R3年～R4年にて
計画策定 予定



進行管理

その他

自転車に関する計画等



進行管理

令和2年度の取組みについて(予定)

第1回協議会（9月25日開催）

- 幹事会報告
- 岸和田市交通まちづくりアクションプランについて
- 【バリアフリー基本構想編】策定状況について
- 【公共交通編】【総合交通戦略編】泉北高速鉄道延伸に関する取組みについて
- 【公共交通編】地域バスの試験運行について
- 【公共交通編】ローズバスの改正に向けた論点整理



本日の
協議会

第2回協議会（11月開催予定）

- 【バリアフリー基本構想編】策定状況について
- 【公共交通編】【総合交通戦略編】泉北高速鉄道延伸に関する取組みについて
- 【公共交通編】ローズバスの改正について

バリアフリー 基本構想分科会

第1回分科会（7月5日開催済み）

- 東岸和田駅周辺地区について
- 春木駅・久米田駅周辺地区について

第2回分科会(春木駅・久米田駅周辺地区まちあるき点検) (10月頃開催予定)

- 重点地区である「春木駅・久米田駅周辺地区」の現地点検を行い、
バリアフリー化の現状を把握するとともに、課題を抽出する

【バリアフリー基本構想編】の策定は3地区を計画しており、
手続きを経て R3年度に2地区、R4年度に1地区の策定予定。

【バリアフリー基本構想編】の策定状況について

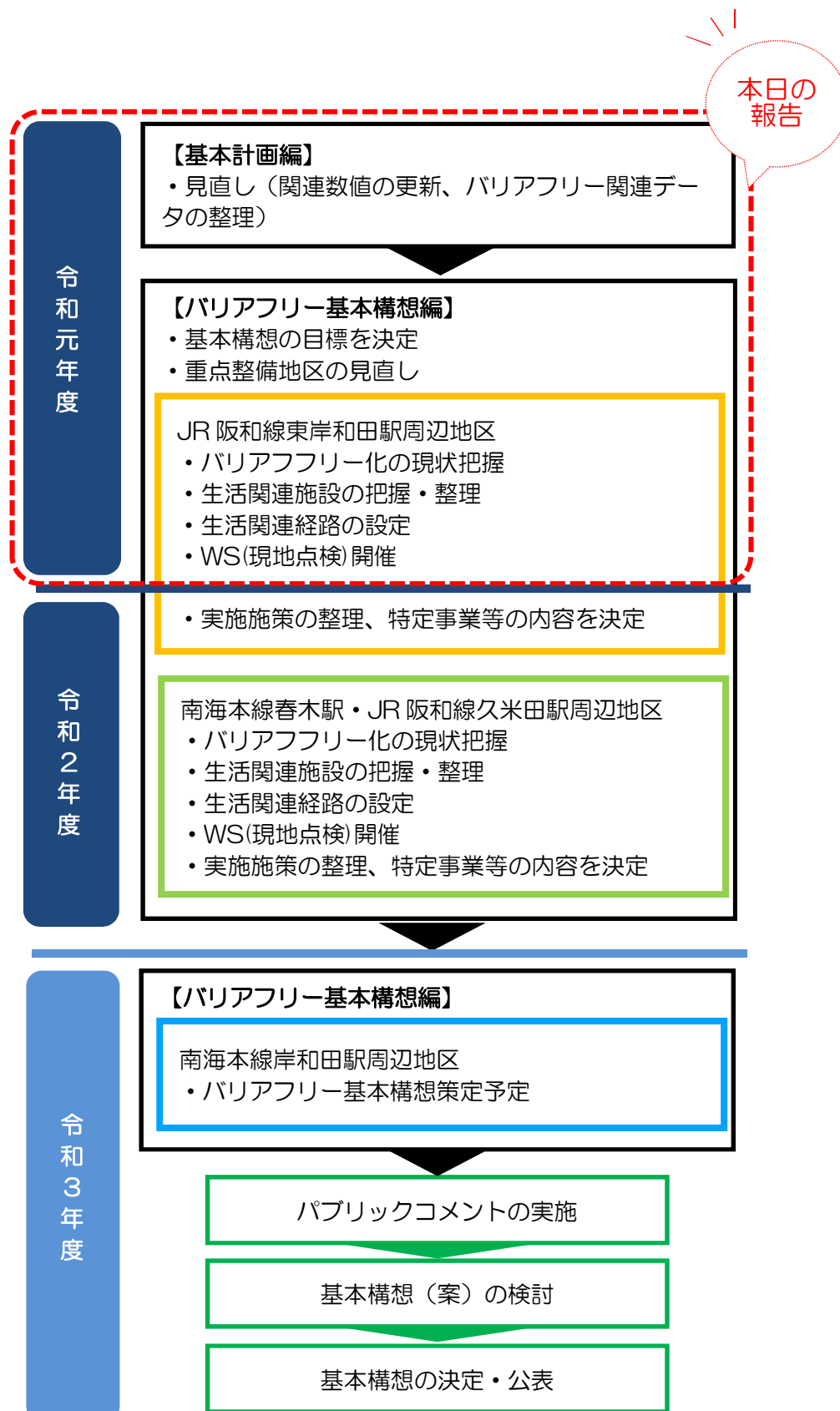


図1 基本構想策定スケジュール

(1) 岸和田市交通まちづくりアクションプラン【基本計画編】

見直し（関連数値の更新、バリアフリー関連データの整理）を実施。

(2) 岸和田市交通まちづくりアクションプラン【バリアフリー基本構想編】

①基本構想の目標を決定

【基本計画編】の基本理念「元気に生活・活動し、安全・快適に移動ができる交通インフラの形成」及び基本方針を踏まえて、【バリアフリー基本構想編】における基本理念を検討。

現在までに進めてきた岸和田市のバリアフリーに対する取り組みの方向性を変えるものではないことから、基本理念は現行基本構想を継承することとした。

バリアフリー基本構想の基本理念

人にやさしく ふれあいがあり
安心して移動できる 地域輝くまちづくり

②重点整備地区の選定(見直し)

重点整備地区については、バリアフリー法第2条第1項第21号及び移動等円滑化の促進に関する基本方針四の2に基づき、次のように選定（見直し）を行った。

まず、鉄道駅を中心とした徒歩圏域（駅から概ね500から1,000メートル）をバリアフリー検討区域の基本とした。市内7駅の徒歩圏域（バリアフリー検討区域）は、貝塚市との行政界及び都市計画道路大阪臨海線、忠岡岸和田線、磯之上山直線及び大阪岸和田南海線で囲まれた区域に概ね含まれる。

次に、バリアフリー検討区域を、国道26号及び都市計画道路岸和田中央線で分割すると、4地区に分かれることになるが、春木駅周辺と久米田駅周辺では、他のブロックと比較して施設の集積度が低く経路も限られるため、一体の地区として設定することとした。

東岸和田駅周辺地区については、現行基本構想に位置付けた施設が移転したことから、区域設定の見直しを行った。

以上より、「JR 阪和線東岸和田駅周辺地区」、「南海本線岸和田駅周辺地区」及び「南海本線春木駅・JR 阪和線久米田駅周辺地区」の3地区を重点整備地区とすることとした。

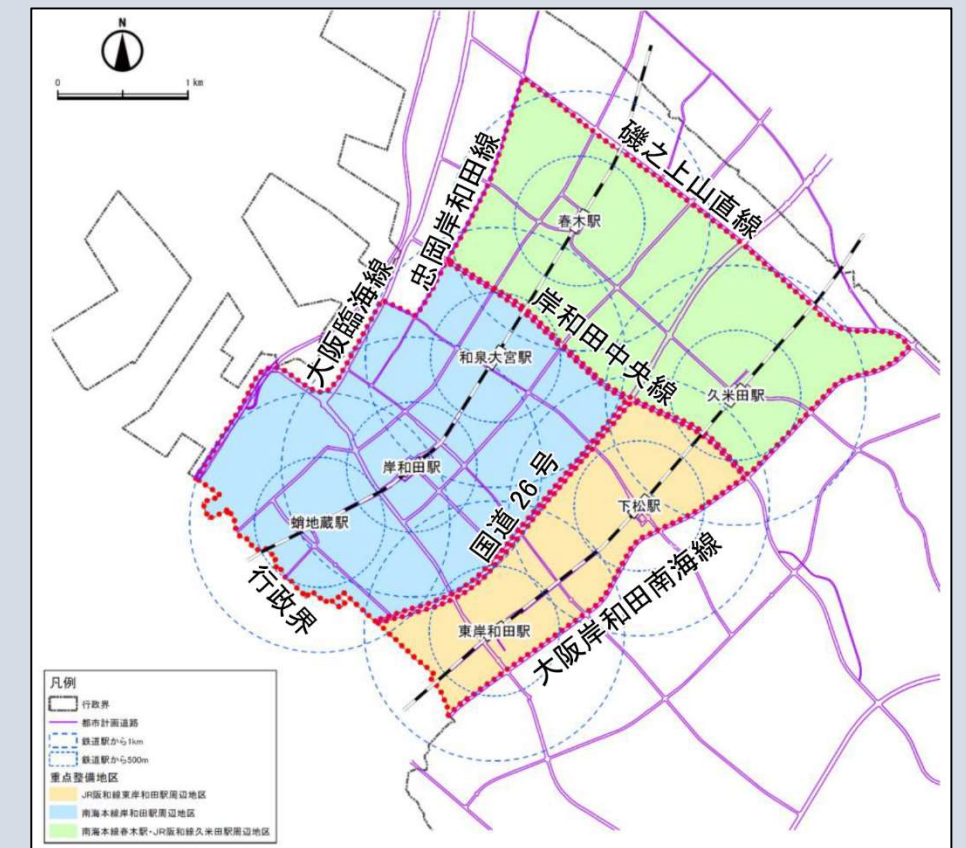


図2 重点整備地区(案)

③バリアフリー化の現状把握

重点整備地区内の生活関連施設候補及び生活関連経路候補を抽出・選定し、バリアフリー状況について調査を実施。

④生活関連施設の把握・整理

以下の考え方で生活関連施設の選定を行うこととした。

1)生活関連施設選定要件

- 多くの高齢者、障害者等が日常生活及び社会生活において利用すると考えられる施設
- 駅を中心とした徒歩圏（駅から概ね 500 から 1000 メートル）に立地している施設

2)生活関連施設選定の考え方

区分	選定の考え方
旅客施設	1日あたりの平均的な利用者数が3,000人以上
官公庁等	市の主要な施設、多くの高齢者・障害者等が日常生活及び社会生活において利用すると考えられる公共施設
都市公園	1ha以上の都市公園
学校	特別支援学校
病院	床面積が2,000㎡を超える建築物を対象 (床面積2,000㎡以上の特別特定建築物を建築しようとする場合は、「建築物移動等円滑化基準」への適合義務あり)
路外駐車場	駐車のために供する部分が500㎡以上、かつその利用に対して料金を徴収している路外駐車場（バリアフリー法による特定路外駐車場）

⑤生活関連経路の設定

生活関連経路は、「生活関連施設相互間の経路」のことで、一般交通用施設として、道路、駅前広場、通路などが対象となる。高齢者、障害者等の移動を円滑にするために、下記の事項を考慮して生活関連経路の選定を行うこととした。

- ・道路ネットワークの根幹を成す主要な幹線経路
- ・迂回率を考慮し、無駄なく移動できる経路
- ・歩行者が、安全、安心、利便、快適性等の面に魅力を感じて利用する経路

⑥WS(現地点検)開催

今後の整備メニュー検討にあたっては、岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会現地点検ワークショップ結果（各地区）を参考とする。バリアフリー基本構想の検討にあたり、施設利用者の立場から現地を確認し、各地区における課題抽出を行うとともに、ワークショップによりバリアフリー化の方針の検討を行う。

- 東岸和田駅地区(令和2年2月5日実施)
- 春木駅・久米田駅地区(令和2年10月29日開催予定)



図3 東岸和田駅地区現地点検ワークショップ

(3) 岸和田市交通まちづくりアクションプラン【バリアフリー基本構想編】JR 阪和線東岸和田駅周辺地区

◆JR 阪和線東岸和田駅周辺地区における課題抽出

東岸和田駅周辺地区については、現地点検ワークショップにおいて、下表の3ルートの点検を行い、地区における課題抽出を行った。

1班	東岸和田駅～駅前広場
2班	岸和田港塔原線～大阪和泉南線～土生町34号線～附属街路3号線～土生町1号線
3班	阪和線附属街路2号線～作才土生1号線～ 阪和線附属街路1号線～並松上松線



図5 東岸和田駅地区現点検ルート

◆整備メニューの検討

対象区域の状況、現地点検ワークショップの結果を踏まえ、実施施策の整理を行い、事業の種類別に対象施設（整備箇所）、事業者、整備項目、実施する事業、事業の実施時期等についてバリアフリー基本構想に記載する。

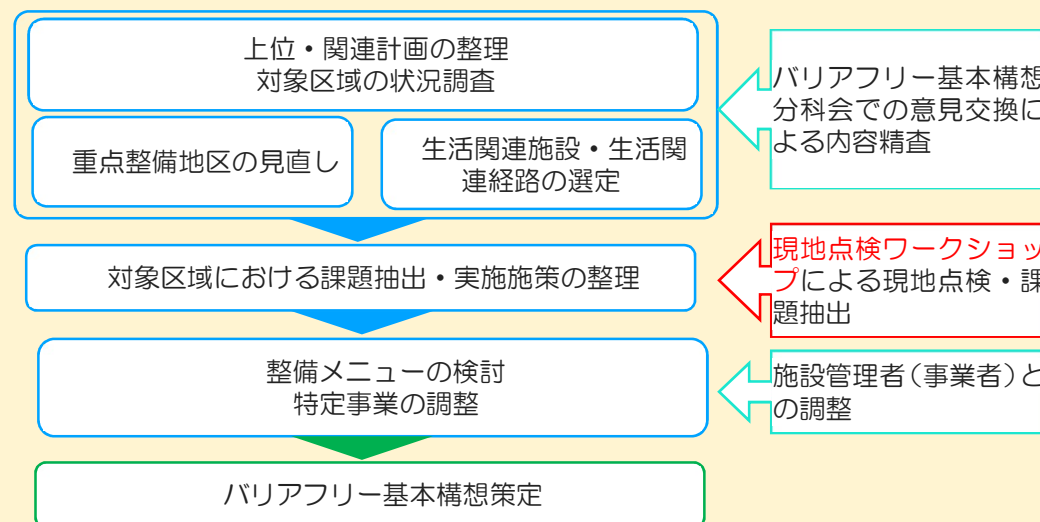


図6 基本構想策定の流れ

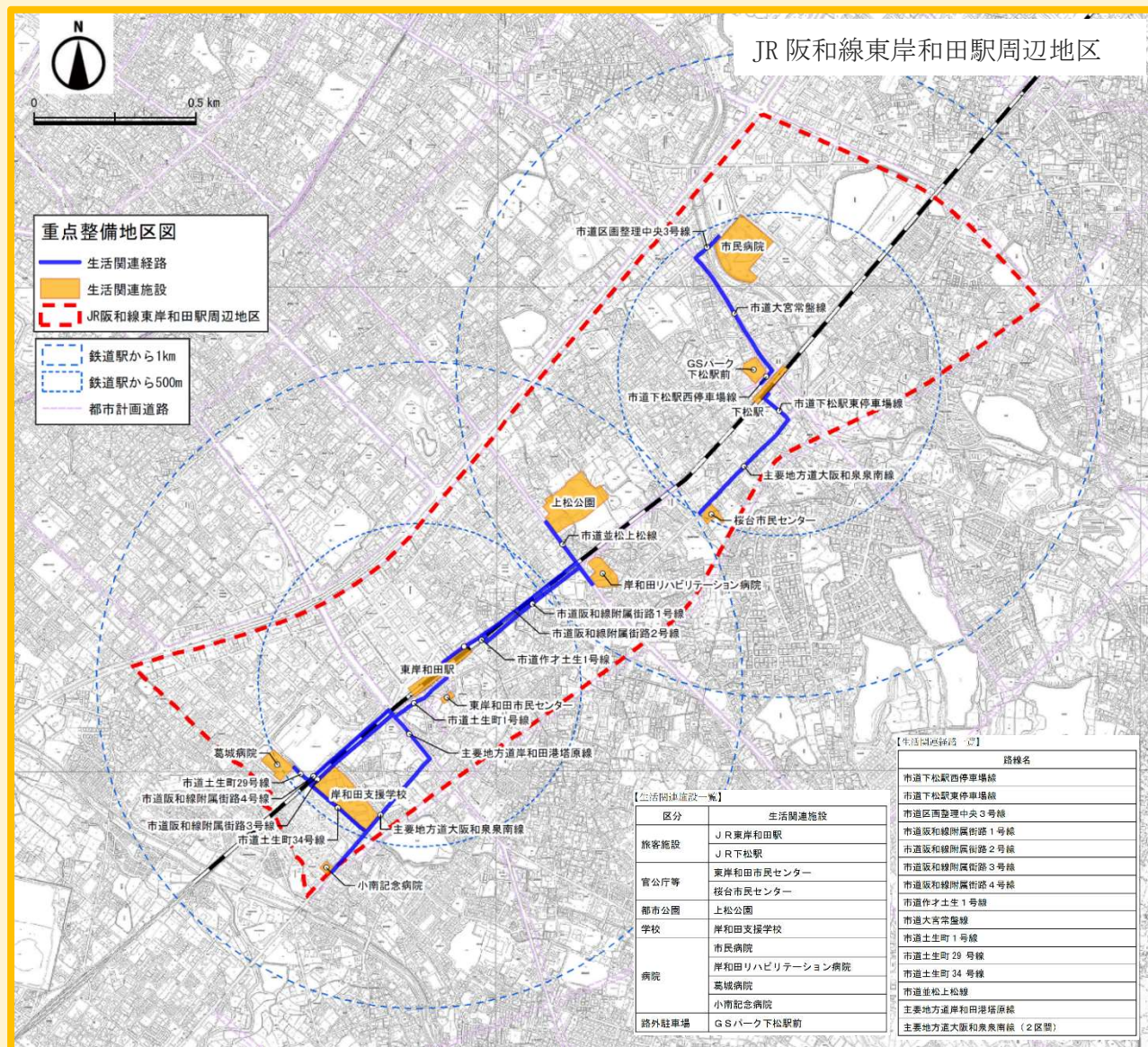


図4 JR 阪和線東岸和田駅周辺地区重点整備地区図

山直北地区 まちづくり 

相川・塔原地区 地域バス試験運行について

〔事業目的〕

岸和田市交通まちづくりアクションプランの「地域公共交通網の将来像」(P73)より、将来検討必要区間となっている路線のうち、運行補助路線(利用人数が少ない地域)について、地域・事業者・行政が一体とり、将来にわたって持続可能な公共交通(地域バス)の導入を図る。

なお、通学手段の確保については別途考慮する。

〔対象路線〕

路線バス葛城線のうち 船渡バス停～塔原バス停間(5.6km、バス停留所6箇所(船渡含む))

〔対象町会〕

塔原町、相川町

〔期間〕

令和元年度の期間を限定して実施(土・日・祝のみ)

〔運行〕

タクシー事業者

〔運行方法〕

運行形式：定時定路線のデマンド(予約)型タクシー

運行日：土・日・祝 (平日は従来どおり路線バスが運行)

・既存の路線バスからの転換※であり、意見交換会において、全ての便を変更するのではなく、「まずは土・日・祝など日を限定して実施し、実際に路線バスに代わる公共交通として利用していけるか検証したほうが良い」という方向性を受け、試験運行については、「土・日・祝」にて試験運行を行う計画。

- ・路線バス運行区域であり、まずは市主導で進める(地元意見)。
- ・運行ダイヤについては、事業者と協議が必要。参考：別紙(案)。

・料金については、別途協議。(路線バスより高くタクシーより安い設定とする。想定は300円)
※路線バスからの転換地域については、ゼロからスタートする地域バスとは形態が異なる

〔試験運行後の見直し〕

- ・本格運行へ移行(地域主体で意思決定)・・・平日へ拡大
(但し朝7:54の塔原発については通学での利用人数が多いため路線バスでの運行等通学手段の確保については、生活交通としての地域バス導入と併せて、別途考慮する)

- ・本格運行へ移行できない(地域主体で意思決定)

〔取組み〕

- ・地域住民・・・地域を取り巻く交通状況の認識、試験運行(地域バス)の実際のご利用、ご意見
- ・路線バス事業者・・・ダイヤ改正等、タクシー事業者との協力(認可申請等)
- ・タクシー事業者・・・運行計画、路線バス事業者との協力(認可申請等)、
市の地元説明会協力
- ・岸和田市・・・住民・事業者調整、運輸支局調整、地域公共交通協議会、赤字欠損補助

※令和元年11月1日～令和2年3月31日

土曜・日曜・祝日・12月30日から1月3日に運行(地域バス運行日は路線バスは運休)

	日	月	火	水	木	金	土
路線バス(海城線)	×	○	○	○	○	○	×
地域バス(試験運行)	○	×	×	×	×	×	○

※乗車の2時間前までにお電話下さい。※1～3日は前日の18:00まで

☎(072)437-2371 ※専用ダイヤル

岸和田交通株式会社 受付時間：7:00～18:00

※事前に予約があった便のみ運行します。予約が無ければ運行しません。
※予約が無ければご乗車いただけません。

1乗車(均一料金) 大人300円 子ども150円

下り時刻表(塔原方面)												
停留所名	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	13便
船渡	7:30	8:00	9:00								17:00	18:00
岸和田駅前	7:36	8:06	9:06								17:06	18:06
船渡	7:52	8:22	9:28								17:22	18:22

※乗車時間：00分

※乗車時間：08分

※乗車時間：28分

上り時刻表(船渡方面)													
停留所名	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	13便
船渡	7:00	8:00	8:55	9:55	10:55	11:55	12:55	13:55	14:55	15:55	16:55	17:55	18:55
岸和田駅前	7:01	8:01	8:56	9:56	10:56	11:56	12:56	13:56	14:56	15:56	16:56	17:56	18:56
船渡	7:02	8:02	8:57	9:57	10:57	11:57	12:57	13:57	14:57	15:57	16:57	17:57	18:57
相川	7:04	8:04	8:59	9:59	10:59	11:59	12:59	13:59	14:59	15:59	16:59	17:59	18:59
河合	7:07	8:07	9:02	10:02	11:02	12:02	13:02	14:02	15:02	16:02	17:02	18:02	19:02
船渡	7:08	8:08	9:03	10:03	11:03	12:03	13:03	14:03	15:03	16:03	17:03	18:03	19:03

※乗車時間：09分

※乗車時間：30分

※乗車時間：43分又51分

※上記の時刻までに停留所にお越し下さい。バスの延着時は一定の範囲内で時間調整します。

ご利用方

※「デマンドタクシー」とは、決められた時間に決められた停留所を巡回するのではなく、事前に予約があった停留所のみを運行し、**予約が無ければ運行しない方式**です。

2時間前までに電話で
予約します。
☎(072)-437-2371
受付時間/
7:00～18:00

予約受付
オペレータが出ましたら、
「相川塔原地域バスの予約をします。」とお
伝え下さい。
※登録をされている方は、
「登録番号〇番の(名前)
です。」と続けて下さい。

お尋ねすること
①利用日 ②乗りたい便(例：上り〇便)
③乗車・降車停留所→配車可能か確認
④お名前 ⑤人数 ⑥電話番号
※事前登録することにより③④⑥を省略する
ことができます。

ご利用が多い方は、名前、電話
番号等を登録することにより、
簡単に予約していただけます。

予約した停留所に決められた時刻までにお越し下さい。
船渡停留所で路線バス(岸和田駅前)に接続しています。

目的地

船渡で乗換

STATION

運賃

□大人**300円**、子ども**150円**、現金でお支払い下さい。
□中学生以上は大人運賃、小学生は子ども運賃がかかります。
□同伴する幼児(1歳以上6歳未満)は、1人目を無料とし、2人目から子ども
運賃がかかります。
□幼児が1人だけで乗車する場合は、子ども運賃がかかります。
□身体障害者手帳、療育手帳を提示の方は半額でご利用いただけます。
□有効な**バス定期券**をお持ちの方は**無料**でご利用いただけます。

注意事項

□複数の人との**乗り合い**利用となります。
□停留所以外での乗り降りできません。
□道路事情により遅れる場合があります、その場合、接続する路線バスにご乗車
いただけないことがあります。
□**予約変更**(キャンセル等)は乗車時刻の**2時間前まで**に岸和田交通株式会社
受付へ連絡してください。
□予約の定数を超えた場合は他の時間の便を案内します。

ここが便利！
☆1時間に1本の設定が
あります。
☆塔原発は6→13本
☆船渡発は5→12本

相川・塔原地区地域バス（デマンドタクシー）運行業務委託 ご利用状況

ご利用状況

令和2年3月まで報告分

月	運行回数(回)			利用者数(人)		
	下り	上り	計	下り	上り	計
11月運行分	1	5	6	2	5	7
12月運行分	0	2	2	0	2	2
1月運行分	0	3	3	0	3	3
2月運行分	0	2	2	0	2	2
3月運行分	4	0	4	13	0	13
利用合計	5	12	17	15	12	27

地域バス概要（運行データ）

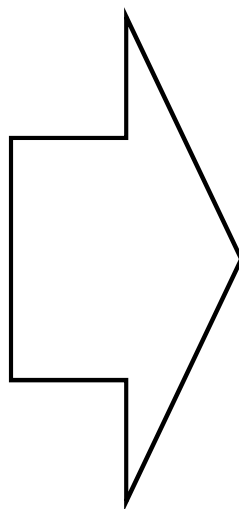
○運行設定日：54日間(11月～3月の土・日・祝及び12/30～1/3)

設定便 25便/日×54日間＝1,350便（実際の運行率：17便/1,350便＝1.3％）

（設定：上り(船渡方面) 18便/日、下り(岸和田駅方面) 17便/日）

○ご利用人数

合計27名(のべ人数)



【客観的指標】令和元年度第2回 資料4より

- ・運行回数：17回
- ・利用者数：27名
- ・1便当たりの利用者数：1.59人
- ・乗車区間：上り 塔原→船渡（2回）、相川→船渡（9回）、相川→河合（1回）
下り 河合→塔原（1回）、船渡→塔原（4回）
- ・収支率：13.9％（7,800/56,100）（事務経費含まず）
- ・事務登録者数：9件

【主観的指標】

地元2町会長との意見交換を実施

↓ 「試験運行についての意見は住民へ直接聞くことが重要」

町内全世帯アンケート、利用者へのアンケートを実施(町会協力)

令和2年8月において 相川町・塔原町各40世帯全戸配布にてアンケートを実施

事業者との意見交換

効果・課題の抽出

アンケート結果を踏まえた地域との意見交換

論点整理

- 論 点 整 理

3. 方針を達成するための公共交通に関する施策

3.1 施策の体系

方針を達成するために行う施策体系を、以下に示します。

活動と移動の階層構造による分類		広域圏	近隣圏	生活圏
方針① 多様な世代の移動ニーズに対応した利用しやすい公共交通サービスの提供	施策①	路線バスの再編		
	施策②	ローズバス*のダイヤ改正・利便性向上		
	施策③	バス等の乗り継ぎ利便性等を高める交通系 IC カード*の普及促進		
方針② 駅の拠点機能向上と持続的なまちづくりを支援する環境に配慮した公共交通環境の形成	施策④	交通結節点*の整備		
	施策⑤	公共交通情報の充実		
	施策⑥	JR阪和線東岸和田駅付近高架化事業の推進		
	施策⑦	鉄道路線間の連携		
方針③ 市内外の交流の活発化による住みやすく、訪れて楽しいまちを支援する公共交通体系の構築	施策⑧	都市計画道路泉州山手線等の道路整備の推進		
	施策⑨	高速バスの利便性向上		
	施策⑩	来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実		
方針④ 市民・交通事業者・行政によるつくり・支え合う持続可能な公共交通の整備	施策⑪	地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の取組み		

表 6-1 戦略目標に基づく施策パッケージと施策の体系

戦略目標	施策パッケージ	施策	
Ⅰ 誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築	(1) 多様な交通手段により移動しやすい交通体系の構築	施策 1	幹線道路における安心・安全な歩行空間の創出
		施策 2	自転車利用環境の向上
		施策 3	バス交通サービスの拡充
	(2) 子どもから高齢者が安全で外出しやすい交通環境づくり	施策 4	移動環境におけるバリアフリー化の推進
		施策 5	子どもや高齢者の交通安全
Ⅱ 拠点の活力促進に向けた交通環境の充実	(3) 拠点での回遊性を高めるにぎわい空間の創出やアクセス機能の強化	施策 6	鉄道駅等へのアクセス道路の整備推進
		施策 7	公共交通による拠点へのアクセス改善
	(4) 拠点における交通結節機能の強化や連携強化	施策 8	駅前広場の整備推進
		施策 9	交通結節機能の拡充
Ⅲ 人流・物流や都市の魅力づくりを支える交通ネットワークの形成	(5) 泉南地域の中心都市としての魅力を維持・向上させる交通体系の構築	施策 10	都市計画道路の整備推進
		施策 11	公共交通網の拡充
		施策 12	災害時における交通ネットワークの確保
	(6) 市民や来訪者が分かりやすく使いやすい交通環境づくり	施策 13	交差点等における交通混雑の緩和
		施策 14	市民や来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実
Ⅳ 地域とともにすすめる安心・安全な交通環境の確保	(7) 地域性に応じた生活交通の確保	施策 15	地域住民主体による持続可能な公共交通体系の確立
		施策 16	協働による地域バス等の導入検討
	(8) 地域に優しい生活道路の創出	施策 17	生活道路等における歩行者の安全な通行の確保
		施策 18	地域住民による通学路等での安全確保

＜改正前後増減率＞

改正前（H29）		改正後（R01）		改正後 増減率
名称	乗車人数 (1日当)	名称	乗車人数 (1日当)	
		和泉大宮駅前	1.4	
上松台東町*	0.9	上松台東町*	1.2	131%
上松台*	1.6	上松台*	2.0	119%
市民病院前	17.1	市民病院前	15.4	90%
南海岸和田駅前 ※本町・別所1	36.3	岸和田駅前	28.9	79%
上松緑町*	0.5	上松緑町*	0.4	74%
春木若松町	9.3	春木若松町	5.9	63%
上松町*	1.1	上松町*	0.6	54%
箕土路公園前	7.3	箕土路公園前	3.8	52%
中井町	6.6	中井町	3.2	48%
小松里町北 ※総合体育館前	7.3	小松里町北（総合体育館）	3.1	43%
加守 2 丁目	5.5	加守町2丁目	2.3	42%
上野町東 ※上野町西	3.2	上野町東	1.3	39%
競輪場前	20.0	競輪場前	7.8	39%
大手町 ※大北町	4.8	大手町	1.8	39%
府営吉井住宅前	12.1	府営吉井住宅前	4.5	37%
下池田町	4.7	下池田町	1.7	36%
保健センター前	2.7	保健センター前	1.0	36%
市役所前 ※図書館前	5.5	市役所前	1.9	34%
山下町* ※星和上松台*	4.2	山下町*	1.4	33%
ときわ公園前	3.6	ときわ公園前	1.0	28%
大工町	5.8	大工町	1.6	27%
港緑町	15.7	港緑町（浪切ホール）	4.1	26%
南町	3.8	南町	1.0	25%
下野町	5.1	下野町	1.2	24%
J R 下松駅前 ※桜台市民C	14.4	下松駅前	2.9	20%
	199.1		101.1	

※ 着色部は、除却バス停（最寄りのバス停へ統合）

* 改正前の上松・星和台ルート(改正後によって 4 便/日(両廻り)→8 便/日(片廻り)へ増便)

＜バス停利用割合＞

改正前（H29）			改正後（R01）		
名称	乗車人数 (1日当)	利用割合	名称	乗車人数 (1日当)	利用割合
南海岸和田駅前 ※本町・別所1	36.3	18.2%	岸和田駅前	28.9	28.6%
競輪場前	20.0	10.0%	市民病院前	15.4	15.2%
市民病院前	17.1	8.6%	競輪場前	7.8	7.7%
港緑町	15.7	7.9%	春木若松町	5.9	5.8%
J R 下松駅前 ※桜台市民C	14.4	7.2%	府営吉井住宅前	4.5	4.5%
府営吉井住宅前	12.1	6.1%	港緑町（浪切ホール）	4.1	4.0%
春木若松町	9.3	4.7%	箕土路公園前	3.8	3.8%
小松里町北 ※総合体育館前	7.3	3.7%	中井町	3.2	3.1%
箕土路公園前	7.3	3.7%	小松里町北（総合体育館）	3.1	3.1%
中井町	6.6	3.3%	下松駅前	2.9	2.8%
大工町	5.8	2.9%	加守町2丁目	2.3	2.2%
市役所前 ※図書館前	5.5	2.8%	上松台*	2.0	1.9%
加守 2 丁目	5.5	2.7%	市役所前	1.9	1.9%
下野町	5.1	2.6%	大手町	1.8	1.8%
大手町 ※大北町	4.8	2.4%	下池田町	1.7	1.7%
下池田町	4.7	2.3%	大工町	1.6	1.5%
山下町* ※星和上松台*	4.2	2.1%	和泉大宮駅前	1.4	1.4%
南町	3.8	1.9%	山下町*	1.4	1.4%
ときわ公園前	3.6	1.8%	上野町東	1.3	1.3%
上野町東 ※上野町西	3.2	1.6%	下野町	1.2	1.2%
保健センター前	2.7	1.4%	上松台東町*	1.2	1.2%
上松台*	1.6	0.8%	ときわ公園前	1.0	1.0%
上松町*	1.1	0.5%	保健センター前	1.0	1.0%
上松台東町*	0.9	0.5%	南町	1.0	0.9%
上松緑町*	0.5	0.3%	上松町*	0.6	0.6%
			上松緑町*	0.4	0.4%
	199.1	100.0%		101.1	100.0%

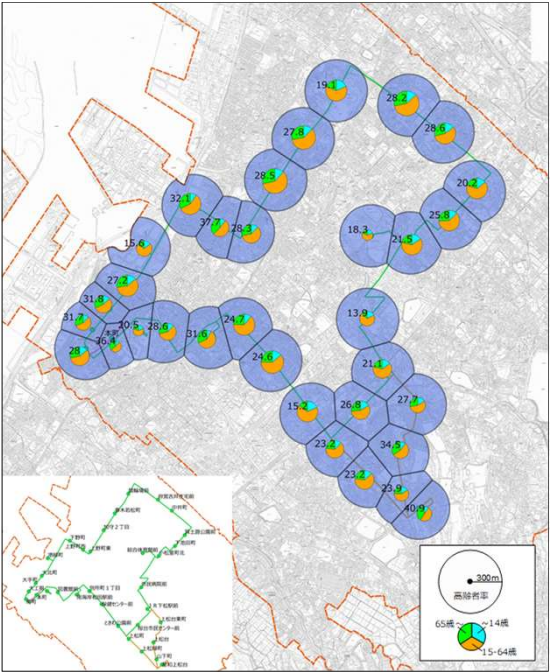
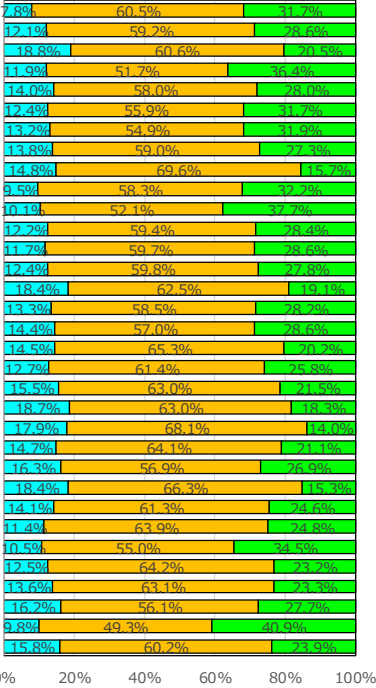
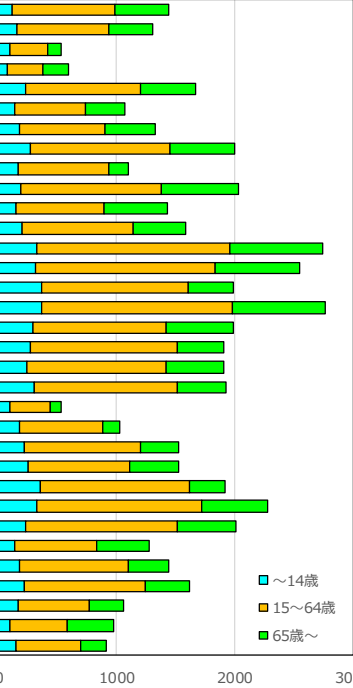
＜需要ポテンシャル＞ …バス停の各設定誘致圏におけるポテンシャルのH31.02改正前後比較

＞ 誘致圏300m

改正前

名称	～14歳	15～64歳	65歳～	総計
南海岸和田駅前	113	871	456	1440
図書館前	158	772	373	1303
市役所前	99	319	108	526
本町	70	305	215	590
南町	233	965	467	1665
大工町	133	599	340	1072
大手町	175	729	423	1327
大北町	275	1177	544	1996
港緑町	163	768	173	1104
下野町	193	1187	655	2035
上野町西	145	746	540	1431
上野町東	194	944	451	1589
加守2丁目	322	1641	785	2748
春木若松町	315	1524	709	2548
競輪場前	366	1241	380	1987
府営吉井住宅前	368	1615	779	2762
中井町	287	1136	570	1993
箕土路公園前	275	1243	385	1903
下池田町	243	1172	493	1908
小松里町北	300	1215	415	1930
総合体育館前	99	334	97	530
市民病院前	183	697	143	1023
J R 下松駅前	224	974	321	1519
桜台市民センター前	247	864	408	1519
ときわ公園前	352	1268	292	1912
保健センター前	321	1396	561	2278
別所町1丁目	229	1287	499	2015
上松台	134	701	440	1275
上松町	180	923	334	1437
上松緑町	220	1023	377	1620
上松台東町	171	593	293	1057
星和上松台	96	483	401	980
山下町	145	551	219	915
	7028	31263	13646	51937

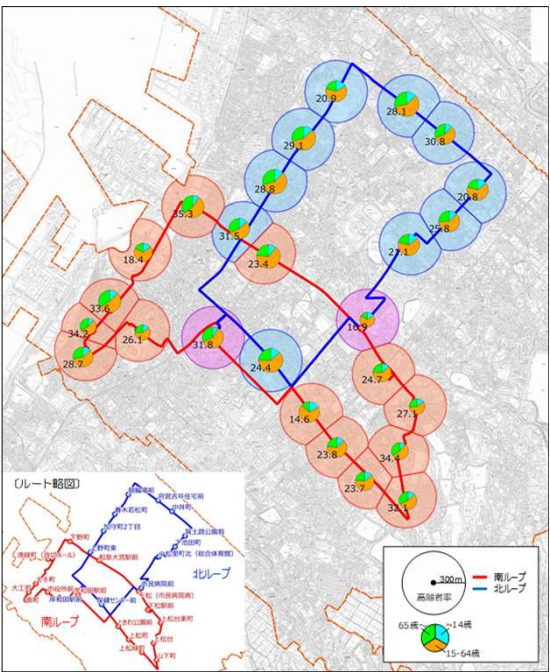
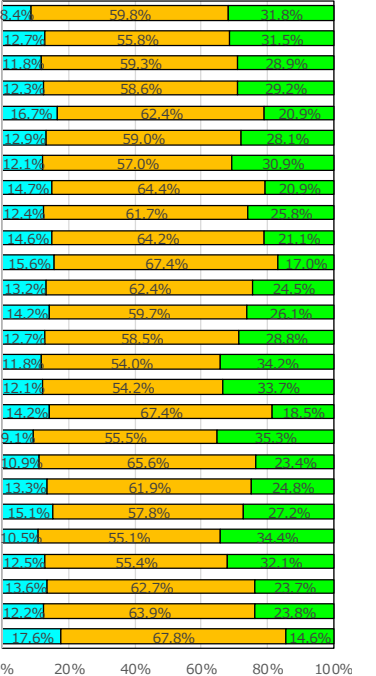
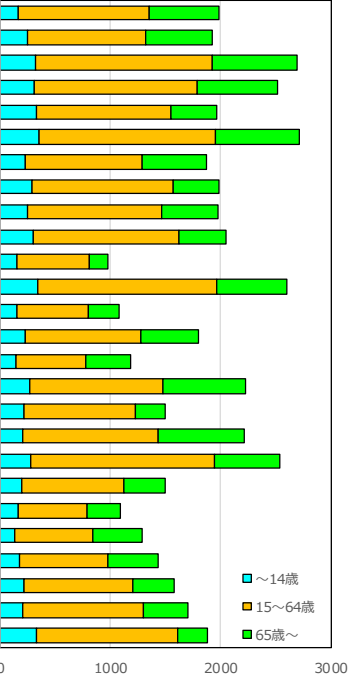
※2017年住基ベース



改正後

名称	～14歳	15～64歳	65歳～	総計
岸和田駅前	167	1187	632	1986
上野町東	244	1075	607	1926
加守町2丁目	319	1598	779	2696
春木若松町	309	1476	735	2520
競輪場前	327	1223	410	1960
府営吉井住宅前	350	1601	763	2714
中井町	226	1065	576	1867
箕土路公園前	292	1279	414	1985
下池田町	246	1222	511	1979
小松里町北 (総合体育館)	300	1316	433	2049
市民病院前	153	659	166	978
保健センター前	342	1620	635	2597
市役所前	153	642	281	1076
南町	228	1049	516	1793
大工町	140	641	406	1187
大手町	268	1204	748	2220
港緑町 (浪切ホール)	212	1009	277	1498
下野町	202	1232	784	2218
和泉大宮駅前	277	1664	594	2535
下松駅前	198	924	370	1492
上松台東町	164	629	296	1089
上松台	135	709	443	1287
山下町	180	795	461	1436
上松緑町	215	993	376	1584
上松町	209	1092	407	1708
ときわ公園前	330	1275	275	1880
	6186	29179	12895	48260

※2019年住基ベース



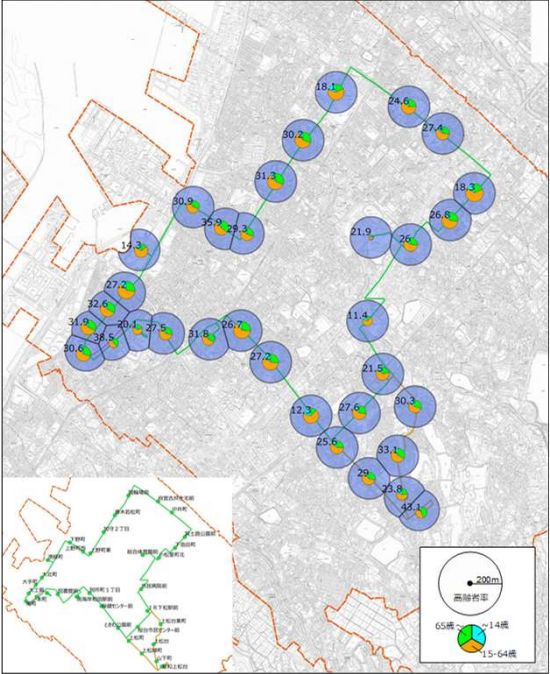
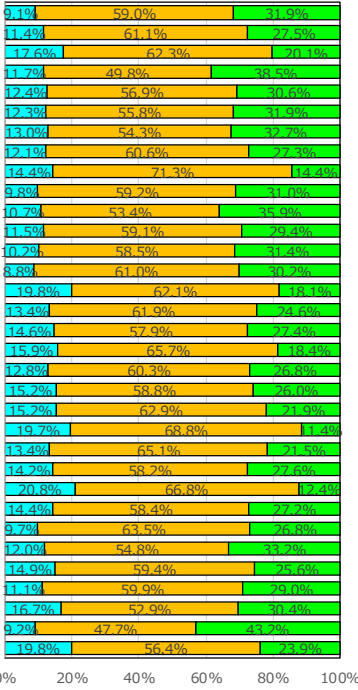
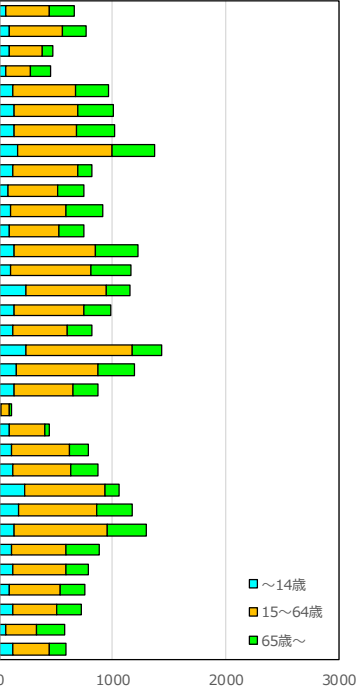
＜需要ポテンシャル＞ …バス停の各設定誘致圏におけるポテンシャルのH31.02改正前後比較

＞ 誘致圏200m

改正前

名称	～14歳	15～64歳	65歳～	総計
南海岸和田駅前	60	387	209	656
図書館前	87	466	210	763
市役所前	83	294	95	472
本町	53	226	175	454
南町	120	550	296	966
大工町	124	564	323	1011
大手町	132	552	332	1016
大北町	165	829	373	1367
港緑町	117	580	117	814
下野町	73	439	230	742
上野町西	97	486	327	910
上野町東	86	443	220	749
加守2丁目	125	719	386	1230
春木若松町	102	706	350	1158
競輪場前	228	717	209	1154
府営吉井住宅前	132	608	242	982
中井町	120	475	225	820
箕土路公園前	228	944	264	1436
下池田町	153	719	320	1192
小松里町北	133	513	227	873
総合体育館前	16	66	23	105
市民病院前	88	307	51	446
J R 下松駅前	105	511	169	785
桜台市民センター前	123	503	239	865
ときわ公園前	221	708	131	1060
保健センター前	169	686	320	1175
別所町1丁目	127	827	349	1303
上松台	106	482	292	880
上松町	117	466	201	784
上松緑町	84	452	219	755
上松台東町	121	383	220	724
星和上松台	53	275	249	577
山下町	116	331	140	587
	3864	17214	7733	28811

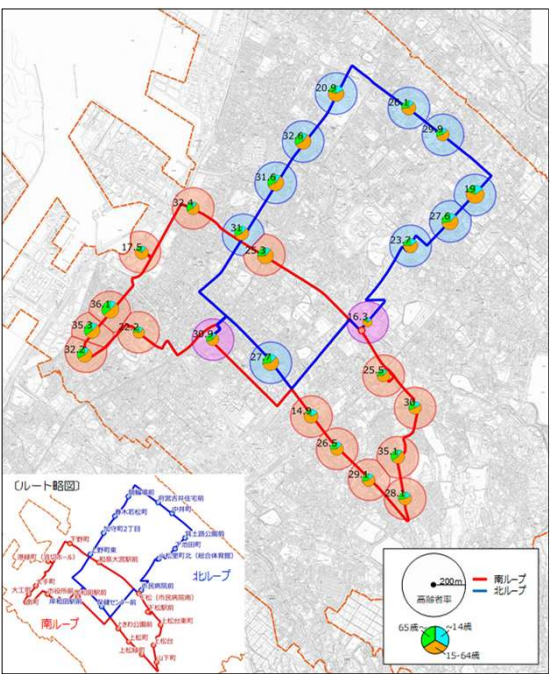
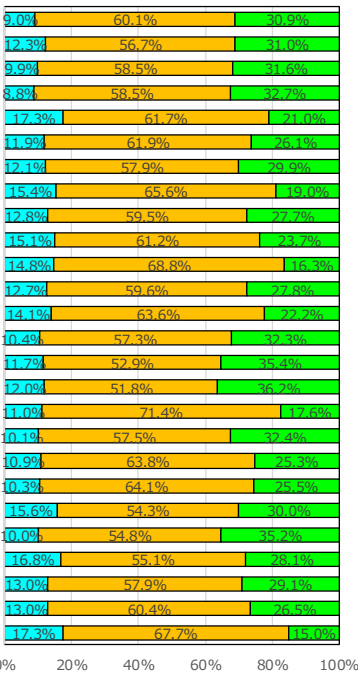
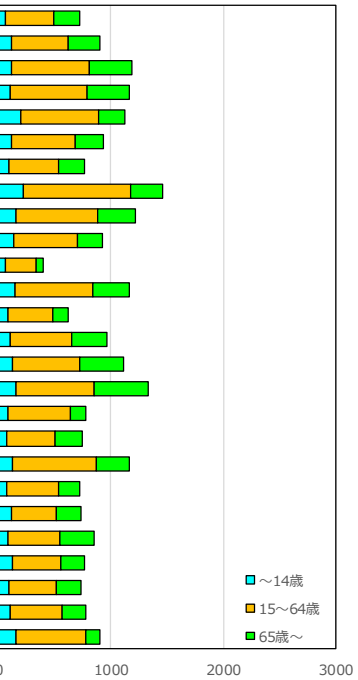
※2017年住基ベース



改正後

名称	～14歳	15～64歳	65歳～	総計
岸和田駅前	65	433	223	721
上野町東	111	511	280	902
加守町2丁目	117	691	374	1182
春木若松町	103	682	381	1166
競輪場前	195	694	236	1125
府営吉井住宅前	111	576	243	930
中井町	93	445	230	768
箕土路公園前	224	955	277	1456
下池田町	156	724	337	1217
小松里町北（総合体育館）	140	567	220	927
市民病院前	59	274	65	398
保健センター前	148	695	324	1167
市役所前	87	392	137	616
南町	100	554	312	966
大工町	130	589	394	1113
大手町	160	690	482	1332
港緑町（浪切ホール）	86	557	137	780
下野町	75	429	242	746
和泉大宮駅前	127	741	294	1162
下松駅前	75	465	185	725
上松台東町	114	396	219	729
上松台	85	464	298	847
山下町	129	423	216	768
上松緑町	95	423	213	731
上松町	101	469	206	776
ときわ公園前	157	614	136	907
	3043	14453	6661	24157

※2019年住基ベース



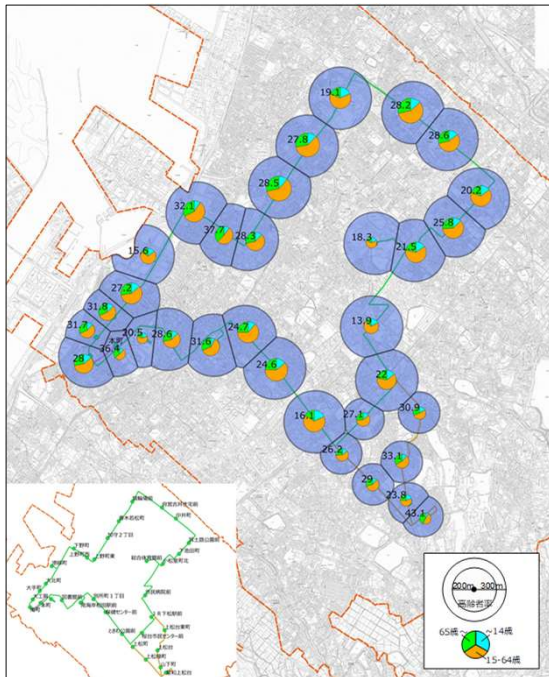
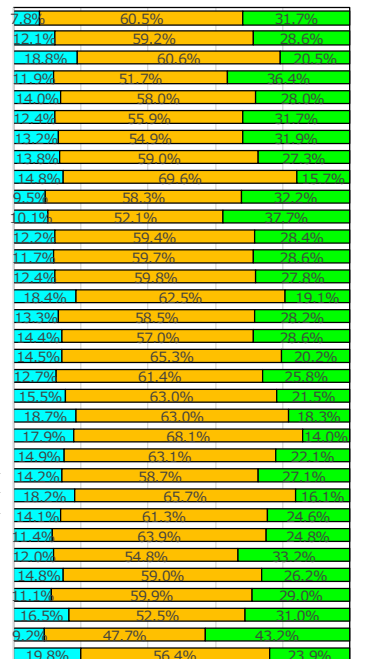
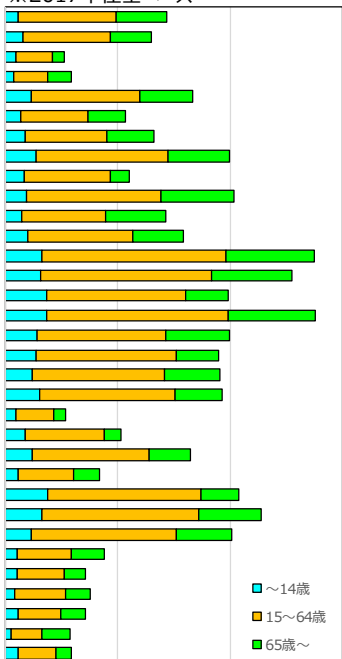
<需要ポテンシャル> …バス停の各設定誘致圏におけるポテンシャルのH31.02改正前後比較

➤ 誘致圏200・300m … 大阪和泉泉南線から山側については、地形による歩行者抵抗を考慮し誘致圏を200mに設定(着色バス停)

改正前

名称	～14歳	15～64歳	65歳～	総計
南海岸和田駅前	113	871	456	1440
図書館前	158	772	373	1303
市役所前	99	319	108	526
本町	70	305	215	590
南町	233	965	467	1665
大工町	133	599	340	1072
大手町	175	729	423	1327
大北町	275	1177	544	1996
港緑町	163	768	173	1104
下野町	193	1187	655	2035
上野町西	145	746	540	1431
上野町東	194	944	451	1589
加守2丁目	322	1641	785	2748
春木若松町	315	1524	709	2548
競輪場前	366	1241	380	1987
府営吉井住宅前	368	1615	779	2762
中井町	287	1136	570	1993
箕土路公園前	275	1243	385	1903
下池田町	243	1172	493	1908
小松里町北	300	1215	415	1930
総合体育館前	99	334	97	530
市民病院前	183	697	143	1023
J R 下松駅前	245	1038	363	1646
桜台市民センター前	119	491	227	837
ときわ公園前	377	1363	334	2074
保健センター前	321	1396	561	2278
別所町1丁目	229	1287	499	2015
上松台	106	482	292	880
上松町	106	423	188	717
上松緑町	84	452	219	755
上松台東町	117	373	220	710
星和上松台	53	275	249	577
山下町	116	331	140	587
	6582	29111	12793	48486

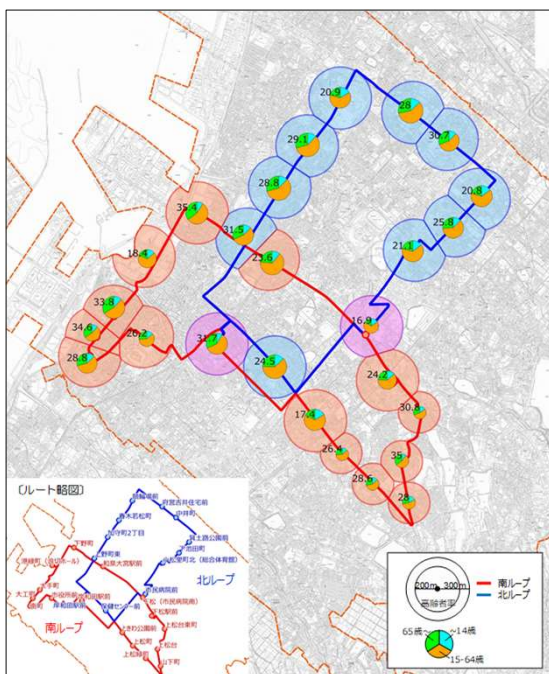
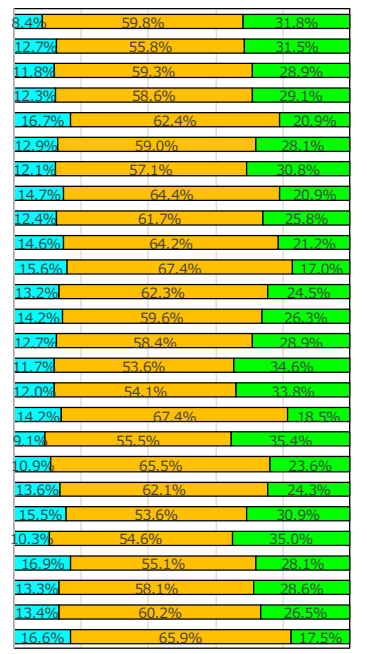
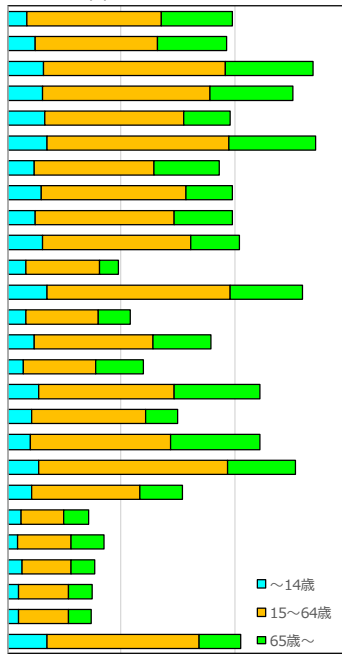
※2017年住基ベース



改正後

名称	～14歳	15～64歳	65歳～	総計
岸和田駅前	167	1187	631	1985
上野町東	244	1075	607	1926
加守町2丁目	319	1598	778	2695
春木若松町	309	1476	734	2519
競輪場前	327	1223	410	1960
府営吉井住宅前	350	1601	762	2713
中井町	226	1065	574	1865
箕土路公園前	292	1279	414	1985
下池田町	246	1222	511	1979
小松里町北（総合体育館）	300	1316	434	2050
市民病院前	153	659	166	978
保健センター前	342	1620	637	2599
市役所前	153	642	283	1078
南町	228	1049	519	1796
大工町	140	641	414	1195
大手町	268	1204	753	2225
港緑町（浪切ホール）	212	1009	277	1498
下野町	202	1232	786	2220
和泉大宮駅前	277	1664	600	2541
下松駅前	209	957	374	1540
上松台東町	110	380	219	709
上松台	88	465	298	851
山下町	130	424	216	770
上松緑町	99	432	213	744
上松町	98	441	194	733
ときわ公園前	341	1352	359	2052
	5830	27213	12163	45206

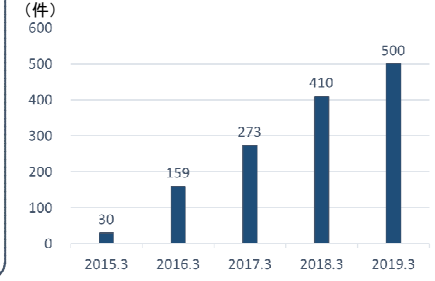
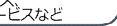
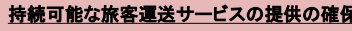
※2019年住基ベース



<予算関連法律>

地域が自らデザインする地域の交通

- ・乗合バスの新規参入等の申請があった場合、国が地方公共団体に**通知**
- ・通知を受けた**地方公共団体は**、新規参入等で想定される地域公共交通利便増進実施計画への影響等も踏まえ、**地域の協議会で議論し、国に意見を提出**

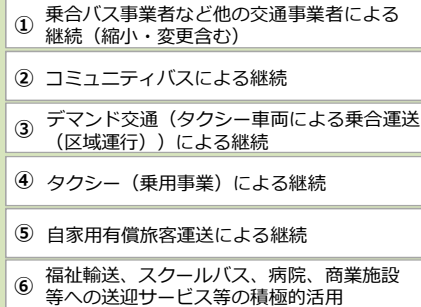


地域の移動ニーズにきめ細かく対応できるメニューの充実

輸送資源の総動員による移動手段の確保

地域に最適な旅客運送サービスの継続

- ⇒従前の路線バス等に代わり、地域の実情に応じて右の①～⑥のいずれかによる旅客運送サービスの継続を実現



自家用有償旅客運送の実施の円滑化

- 地域住民のみならず観光客を含む来訪者も対象として明確化
⇒インバウンドを含む観光ニーズへも対応



貨客混載に係る 手続の円滑化

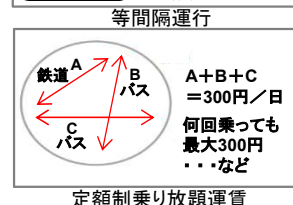
- 鉄道や乗合バス等における
貨客混載を行う「**貨客運送
効率化事業**」を創設
⇒旅客・貨物運送サービス
の**生産性向上を促進**



既存の公共交通サービスの改善の徹底

利用者目線による路線の改善、運賃の設定

- 【改正案】「**地域公共交通利便増進事業**」を創設
⇒路線の効率化のほか、「**等間隔運行**」や「**定額制乗り放題運賃**」「**乗継ぎ割引運賃(通し運賃)**」等のサービス改善を促進
併せて、**独占禁止法特例法**により、乗合バス事業者間等の共同経営について、**カルテル規制を適用除外する特例を創設**



MaaSの円滑な普及促進に向けた措置

- **MaaSのための協議会制度を創設**
⇒ 参加する **幅広い関係者の協議・連携を促進**



交通インフラに対する支援の充実

- ・地域公共交通活性化再生法に基づく認定を受けた **鉄道の整備**
 - ⇒交通ネットワークを充実
- ・物流総合効率化法に基づく認定を受けた **物流拠点** (トラックターミナル等) の **整備**
 - ⇒複数の事業者の連携による物流効率化を促進



会 議 録

名 称	令和元年度第 2 回岸和田市地域公共交通協議会																																																																					
開催日時 及び場所	令和元年 8 月 21 日（水）午後 2 時 30 分～午後 4 時 40 分 岸和田市職員会館 大会議室																																																																					
出席者	<table><tr><td>土佐</td><td>津村</td><td>大西</td><td>吉田</td><td>阪部</td><td>表木</td><td>中野</td><td>梅澤</td><td>芥子</td><td>山崎</td></tr><tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>原</td><td>勝藤</td><td>澁谷</td><td>石田</td><td>吉野</td><td>安藤</td><td>山中</td><td>藤浪</td><td>北口</td><td>水内</td></tr><tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td></tr><tr><td>日野</td><td>伊勢</td><td>後藤</td><td>小森</td><td>鈴木</td><td>梶川</td><td>別所</td><td>小川</td><td>小林</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr></table>										土佐	津村	大西	吉田	阪部	表木	中野	梅澤	芥子	山崎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原	勝藤	澁谷	石田	吉野	安藤	山中	藤浪	北口	水内	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	日野	伊勢	後藤	小森	鈴木	梶川	別所	小川	小林		○	○	○	○	○	×	×	○	○	
土佐	津村	大西	吉田	阪部	表木	中野	梅澤	芥子	山崎																																																													
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																													
原	勝藤	澁谷	石田	吉野	安藤	山中	藤浪	北口	水内																																																													
○	○	○	×	○	○	○	○	×	○																																																													
日野	伊勢	後藤	小森	鈴木	梶川	別所	小川	小林																																																														
○	○	○	○	○	×	×	○	○																																																														
委員 29 名 うち 出席 25 名 代理 3 名	事務局（まちづくり推進部市街地整備課） 実森課長、森下交通政策担当長、本田主査、北出、小竹																																																																					
傍 聴 者	1 名																																																																					
＜＜概要＞＞ ■基調講演 「イギリスの交通の現状報告」 ■案件 ① 岸和田市交通まちづくりアクションプランについて ② 【公共交通編】 1. 平成 30 年度 事業報告について 2. 平成 30 年度 評価指標について ③ 【バリアフリー基本構想編】バリアフリー基本構想分科会について ④ 【公共交通編】相川・塔原地区地域バスについて ・取組について ・試験運行の実施要綱について																																																																						
＜＜内容＞＞ ■基調講演 「イギリスの交通の現状報告」 講師：伊勢委員 ・ロンドンの概要 ・公共交通システム ・M a a S（Mobility as a Service） ・公共交通の連携 質疑応答 （委員） ロンドンの鉄道・バスは公営でしょうか。 （講師） 鉄道は上下分離方式で運営しており、線路は公営、運行は入札で決めている。 （副会長） 分かりやすく最新の情報を講演いただき、公共交通の概要を理解できたと思う。付け加えると、20 年前のイギリス、オランダ等では自転車利用はほとんど無かった、5～6 年前では至る所に駐輪場があり、道路にも自転車レーンが設けられている。このような政策は環境対策として実施されている。自動車交通を削減するため、ロードプランニングを実施し、利用料を公共交通（自転車を含む）の充実のために使用している。欧州は目的を持って政策を実行している。一方、日本では自動車交通と公共交通は別々の政策によって運用されている。不安要素として I T 技術だけが進んでおり、配車サービスが充実すると個別交通は便利になるが、公共交通が衰退する可能性がある。 欧州の公共交通は、家族、子どもに対して優しく、子どもは無料や家族での移動時には割引になる制度があり、これは少子化対策にもなっている。目的を明確にした政策である。岸和田市では実施できることに限りがあるが、市、事業者ともに頑張っていたきたい。																																																																						

(会長)	ロンドンという大都市のご紹介でしたが、地方都市での公共交通の利用促進の取組等はあるでしょうか。
(講師)	地方都市での研究について資料は集めているが分析途中である。 2つのパターンがあり、商業ベースが可能な路線は行政がサービス水準を決め運営する事業者を入札で決める。商業ベースが困難な路線は官民が連携しサービスを提供するスキームを作っている。
(副会長)	ロンドン以外の都市は都心に自動車で進入しないことが前提で、幹線道路沿いに駐車場を設けパークアンドライドで都心に移動するのが一般的。地方の公共交通は民営化されているが、黒字路線と赤字路線をセットで入札するなどしている。運営している民間事業者も、バスチケットにくじを付けるなど利用促進のための試みを実施している。
■岸和田市地域公共交通協議会の会議録について	
(会長)	会長より本日の会議録署名人として原委員を指名
案件	
① 岸和田市交通まちづくりアクションプランについて	
(事務局)	資料 1 を用いて説明
～委員からの意見～	
(会長)	ご質問等無いようであれば、本日の協議会の位置付けを確認いただいたということで、岸和田市交通まちづくりアクションプランについては終えたい。
②【公共交通編】	
1. 平成 30 年度 事業報告について	
(事務局)	当日資料 2-1 を用いて説明
～委員からの質問～	
(委員)	施策 2 ローズバスのダイヤ改正・利便性向上について、今回のルート改正は試験的に実施したものか。
(事務局)	ローズバスの改正は、昨年、本協議会でご議論いただいた。平成 12 年より運行しておりルートの見直しが必要であるとの結論から改正した経緯がある。 今回の改正が最終形ではなく、見直しは行いますが、試験的に実施しているわけではない。
(委員)	今回の改正では、ルートを 2 つに分けて一方廻りにする、料金は 7 割値上げ等、大きく変更された。大きく変更される理由があったのか。9 割の利用者が不便になった、元に戻してほしいとの意見がある。今回の改正が良かったのかと疑問がある、最終でもない試験でもないと言われると判断に悩む。前回より参加させていただいているが、昨年の会議録は読ませていただいた、さまざまな議論の上改正されたことは解るが理解しがたい点がある。ローズバス導入時の理念等を教えてほしい。
(事務局)	平成 12 年に、市内の公共施設を巡回するバスとして運行が開始された、以降、沿道にお住まいの方の移動手段として定着している、中長期的には利用者は減少傾向になってきており、収支率は 20%程度で残りの 80%は公共が負担している状況にある。従来のルート等では持続性に課題があり、運行していない地域からは運行の要望がある。アクションプランに基づいて改正を行ったが、市民アンケート調査において、6 割以上の方がローズバスの公共負担を減らすためには値上げ、減便もやむを得ないと回答している。
(委員)	ローズバス導入時に担当より説明を聞いた際に、福祉的要素が多く、高齢者の外出機会を創出することにより健康維持に繋げていく、等であったと記憶している。事務局は収支率を説明したが、当初、収支率は前提に置かれていなかった。7 割値上げによりかなり利用者が減っていると聞いている、料金を値上げしても利用者が半分になったのでは意味がない。コースを変えて不便になったことから利用者数が半分くらいになったと聞いている、料金値上げの意味がない。元のルートに戻せば、乗車率が倍になり収支率がやっと 34%になる。現在のルートは全くの間違いと思う。例えば吉井住宅前から市役所前までどのように行けばいいのか。
(事務局)	北ループで岸和田駅前まで行き、下車前に乗継券をお取りいただき、南ループに乗換えて市役所前まで行くことになる。帰りは南ループで岸和田駅前まで行き、北ループに乗換えて吉

- 井住宅前まで行ける。
- (委員) 吉井住宅前から市役所前に行こうとすると、北ループ・南ループ全部乗らなければならない。不便この上ない、おかしいかなと思う。旧ルートと照らし合わせると、当初は路線バスとは競合しないルートであった。現在のルートは必要のない所も路線バスと競合している、一方廻は不便である。現在のルートは誰がどのように決めたのか、岸和田の状況を知った人が決めたのか、不審に思う、岸和田で生まれ育った人の意見を聞いてこそ大事だと思う。市民病院について、南ループが前を通っていない、少し回れば市民病院の前を通ることができる、10分もかからない。足が悪い人が市民病院南バス停留所から病院まで歩くのは困難。思いやりが必要。個人の意見だが、今回の改正は全くの失敗である。いくら一所懸命続けても生産性、収支率アップは難しいと思う。多くの人が元に戻して欲しいと思っているので勇気を持って戻してほしい。利便性が向上してこそ市民の足としてローズバスを使って頂ける。
- (委員) 私は岸和田で生まれて岸和田で育った。平成12年にローズバスが始まった時に家の前に停留所が出来た。いろいろな問題があったであろうと思う。改良するために今回の改正が行われた。改正前には当協議会で議論されたが、私は反対をした。料金も無料にすべきと主張した。170円については民業圧迫を避けるためとのことだった。改正後半年が経過した、利用者数はどの程度か。
- (事務局) 2月から7月の利用者数は前年が30,910人。今年は15,998名で、比率は52%になる。
- (会長) 市としては、たくさんの人に利用していただき外出機会を増やして欲しいという思いは変わっていない。平成14年が利用のピークで以降は徐々に減っている。何とか利用を増やしたいという思いで今回の改正に至った。改正前の1日あたりでは200人が利用されていた。往復利用も多いことから、利用者の絶対数が少ないと思われる。改正により新たな利用者を増やしていきたいと考えている。今月から乗り込み調査を実施し意見を聴取し、併せて広報を強化していこうと考えている。魅力をアピールし新たな利用者を増やしていきたい。もう少し長い目で見ていただきたい。
- (委員) 改正後の利用者数は半数になっているのには、何か原因がある。昨年の協議会で、手を挙げれば止まるバスにすれば良いと主張した。こういうバスは一方廻りは間違いである。イギリスでは利用者の側にたって考えており非常に感銘を受けた。改正前にアンケートで意見を聴取すべきであった。長い目で見て欲しいとのことだが、広報によって利用者が倍になるとは考えにくく、原点に立ち返ってみるべき。この場でいろいろな意見を述べたが何ひとつ採用されなかった。この点についても問題があると思う。
- (会長) 様々な方からご意見をいただいている。私も実際に乗車して意見を聞いている。今回の改正で便利になったので新たに利用を始めたという意見もある。幅広く意見を聞いて、より便利に利用できるように検討していく。
- (委員) 吉井住宅前より市役所に行く場合、時間も費用もかかるようになった。不便この上なく、1つの目的地に行くのに全ループを乗るのは考えられない。多くの乗っている人から不評を聞いた。もう一回考え直すべき。1年様子をみてその後1年考えてでは遅すぎる。迅速に行動すべき。要望しておく。
- (副会長) 減った事実はあるが、悪くしようと考えて行った改正ではなく、協議会では様々な議論して行った改正である。結果として半分になったことは何かが問題がある、ルートの問題・運賃の問題・周知不足なのか検証するためある程度の期間が必要。協議会では、問題を提起していただき、皆さんで協議して前に進んでいくことになっている。現在乗り込み調査中とのことで、出た意見等を協議会で出していただき、改善策を検討していく。事務局には今後の予定をお聞かせいただきたい。
- (事務局) 引き続き、バス停ごとの乗降数を集計していきながら傾向をとらえたい。乗り込み調査は8月より、各ループ月曜日から金曜日まで全ての便で行っている途中なので、調査終了後に集計した上で次の機会でご報告する。
- (副会長) ローズバスを利用していなかった方々に対しても周知を行いたい。一定期間を置いて、傾向分析、意見聴取を行った上で、次の改正に向けて進んでいくという理解でよろしいか。また、今回の改定では、料金を上げるだけでなく、サービス向上をはかるという内容だったので、バスロケーションシステムの利用者や岸和田駅での乗り継ぎ利用者数などの情報もあれば、次回にお願いしたい。
- (委員) 時間がかかりすぎ。失敗を認めるべき。乗り込み調査、統計を何カ月もとって、検討に時間

(会長)	をかけるという流暢なことを言っている時間はない。 ローズバスについては、ご説明できる資料を揃えて報告をさせていただきたい。 1. 平成 30 年度 事業報告については、これで終えたい。
2. 平成 30 年度 評価指標について (事務局)	資料 2-2 を用いて説明 ～委員からの質問～
(委員)	観光入込客数が 300 万人という件について、本協議会で話題が出されるたびに、おかしいということで質問をしている。本来、観光というものは何時間滞在したかが大事で通過しただけでは意味がない。見直しや 300 万人の中身の分析が必要と指摘してきた。岸和田祭りやお城祭りではどのようなカウントをしているのか。 南海岸和田駅での乗降客数は平成 4 年で 34 千人だったが現在は 24 千人になっている。特急停車駅でありながら駅のホームで広告が全くない。 意味のないデータを平気で出すのは止めて欲しい。
(委員)	観光入込客数のカウントについては、1 人 1 人を数えているわけではない。 観光振興計画では観光入込客数は愛彩ランド等の施設の来場者を足した 300 万人になっている。見直しの際にはよく検討するように担当部署に伝える。
(会長)	資料 2-3 で主だった施設の入込客数の内訳を添付している。委員の指摘に基づき添付したものである。
(委員)	観光入込客数について、目標が 287 万人は平成 27 年度と同じ数になっている。現在はかなり変わって（増えて）きている、目標を上回っている状態なので目標の見直しが必要。
(委員)	資料 2-3、観光交流センターの数は、訪れた数かレストランで食事をした数なのか。 市の判断により総合計画に基づく戦略の策定時に重点化する施策を選定し、他の施策については目標を据え置いた経緯がある。何もしないという訳ではなく、現状維持を目標としている。 観光交流センターの数は、訪れた人と食事をした人の数の合算。
(委員)	観光入込客数の目標値は 4 年経過しているので、改定すべき。
(会長)	他にご質問等無いようであれば、2. 平成 30 年度評価指標については終えたいと思います。
③【バリアフリー基本構想編】バリアフリー基本構想分科会について (事務局)	資料 3 を用いて説明 ～委員からの質問～
(会長)	ご意見等ないので、【バリアフリー基本構想編】バリアフリー基本構想分科会については、これで終えたい。
④【公共交通編】相川・塔原地区地域バスについて ・取組について (事務局)	資料 4 を用いて説明 ～委員からの質問～
(会長)	相川・塔原地区地域バスの試験運行の広報活動や評価の視点、そしてスケジュールについての説明であったが、前回協議会において、試験運行を行う上での一定の評価を行うことや、試験運行後の本格運行移行への判断を補足するものとして、指標等を設定してはとのご意見もあった中での説明であると考ええる。 指標等については、専門的な観点もあるので、日野副会長いかがか。
(副会長)	試験運行なので、評価を行うために指標が必要だが、土日の運行のため乗車数は少ないと予想され、乗車数だけでは判断が困難。外出機会の増加や自動車からの転換など地域住民の行動の変化等を判断の基準にさせていただきたい。重要なのは路線バスの便数が少ないなか、地域住民が今後、移動の際に何が必要なのか考えることである。自動車があるから公共交通は必要ないという意見もあるが、無くなったら困る人もいるので、公共交通が無くなる前に考えましょうというのが今回の主旨。試行運転について地域住民にご理解を得る必要があり、何らかの指標で評価が出来ればよい。地域での勉強会や誘い合わせて利用してみる等が考えられる。

(委員)	人との交流が増えた減ったは、ソーシャル・キャピタルの観点でも重要と考える。
(会長)	ご質問等ないので、次に移りたいと思います。
・試験運行の実施要綱について	
(事務局)	資料 5 を用いて説明
～委員からの質問～	
(委員)	デマンドバスの運行は岸和田交通㈱だけか。
(事務局)	タクシー岸和田会に所属する 3 社を対象に選定し、岸和田交通㈱が運行することに決定した。
(委員)	船渡から塔原までの路線バス料金はいくらか。
(事務局)	300 円。地域バスは路線バスより高く、タクシーより安い料金設定をする。
(委員)	運行形式は定時定路線型ではなく、予約時のみ運行という表現にすべきである。
(事務局)	地域住民の説明時には修正して説明する。
(会長)	他に意見が無いようなら、本法定協議会で合意を頂くことで、試験運行が実施可能となる。
	そうがわ とのはら 「相川・塔原地区地域バスの試験運行」について、合意としてよろしいか。 異議等ないので、合意とする。
⑤その他	
(事務局)	長時間にわたり、貴重なご意見を頂いた。 今後、本日頂いたご意見を踏まえ「バリアフリー基本構想策定」「地域バスの導入」についても引き続き必要な手続きを進めて参りたい。 次回の協議会については、本年度の協議会は本日の第 2 回目で終了の予定だが、他の施策等の取組みも進めて行く中で、開催が必要となることも考えられる。その場合は、日程を決定した段階で、皆様へ連絡したいと考えているので、その際は、宜しくお願いしたい。
(会長)	以上をもって、第 2 回岸和田市地域公共交通協議会を閉会とする。
岸和田市地域公共交通協議会会議運営規程第 5 条の規定により 令和元年度 第 2 回岸和田市地域公共交通協議会の会議録をここに署名する。	
議 長	署 名
会議録署名人	署 名

相川町・塔原町地域バス沿線住民 (世帯)アンケート集計結果

アンケート実施日

令和2年8月

有効回答数

59人

実施者

まちづくり推進部市街地整備課

問1.回答者属性

男性	女性	無回答
27	30	2
45.8%	50.8%	3.4%

20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答
0人	1人	1人	5人	14人	13人	19人	6人	0人
0.0%	1.7%	1.7%	8.5%	23.7%	22.0%	32.2%	10.2%	0.0%

問2.ご家族の人数

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人
5	20	9	11	5	5	2	1	1
8.5%	33.9%	15.3%	18.6%	8.5%	8.5%	3.4%	1.7%	1.7%

問3.ご家族の年代内訳

【男性】

20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
16	14	7	8	15	13	17	7
16.5%	14.4%	7.2%	8.2%	15.5%	13.4%	17.5%	7.2%

【女性】

20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
18	12	6	14	15	14	18	10
16.8%	11.2%	5.6%	13.1%	14.0%	13.1%	16.8%	9.3%

問4.お住まい

相川町	塔原町	無回答
27	30	2
45.8%	50.8%	3.4%

問5.運転免許保有人数

自動車	バイク	無し	免許返納	無回答
152	43	19	2	1
75.2%	21.3%	9.4%	1.0%	0.5%

※対人口比(問2より)

問6.車両保有台数

自動車	バイク	自転車
161	62	31
2.7台/世帯	1.1台/世帯	0.5台/世帯

※対世帯数比(問1より)

問7.ご家族の主な移動手段

【平日】

路線バス	自動車(運転)	自動車(送迎)	バイク	自転車	徒歩	その他	無回答
14	128	16	15	3	3	1	4
6.9%	63.4%	7.9%	7.4%	1.5%	1.5%	0.5%	2.0%

※対人口比(問2より)

【休日】

路線バス	自動車(運転)	自動車(送迎)	バイク	自転車	徒歩	その他	無回答
3	113	26	13	1	3	1	10
1.5%	55.9%	12.9%	6.4%	0.5%	1.5%	0.5%	5.0%

※対人口比(問2より)

問.8 お買い物頻度

毎日	3日に1回	週に1回	2週に1回	その他	無回答
11	28	13	0	4	4
18.3%	46.7%	21.7%	0.0%	6.7%	6.7%

問.9 お買い物先

愛彩ランド	オークワ 岸和田八田店	トークタウン	岸和田駅周辺	港緑町周辺	オークワ 貝塚三松	松源 貝塚木積	その他	無回答
13	32	19	3	2	30	2	13	4
11.0%	27.1%	16.1%	2.5%	1.7%	25.4%	1.7%	11.0%	3.4%

問.10 地域バスを知ったきっかけ

知らない	説明会	町内回覧板	知人より	その他	無回答
5	25	20	3	0	6
8.5%	42.4%	33.9%	5.1%	0.0%	10.2%

問.11 ご家族のどなたかが地域バスを利用したか

利用した	利用していない	無回答
4	47	8
6.8%	79.7%	13.6%

問.12 地域バスを利用しなかった理由

知らなかった	利用方法	電話予約	運賃	曜日	時間	目的地	車便利	不要	その他	無回答
4	5	12	5	6	6	10	33	10	5	7
3.9%	4.9%	11.7%	4.9%	5.8%	5.8%	9.7%	32.0%	9.7%	4.9%	6.8%

問.13 利用に向けた改善点

予約方法	運賃	曜日	時間	車両仕様	バス停位置	バス停環境	利用しない	その他	無回答
5	4	1	11	3	3	4	8	13	24
6.6%	5.3%	1.3%	14.5%	3.9%	3.9%	5.3%	10.5%	17.1%	31.6%

問.14 何年後に地域バス等が必要か(現在自動車移動の方に限る)

今すぐ	3年後	5年後	10年後	将来必要	不要	無回答
3	2	5	5	33	1	5
5.6%	3.7%	9.3%	9.3%	61.1%	1.9%	9.3%

地域バス利用者アンケート

アンケート実施日

令和2年8月

有効回答数

6

実施者

まちづくり推進部市街地整備課

問1. お住まい

相川町	塔原町	その他	無回答
2	3	0	1
33.3%	50.0%	0.0%	16.7%

問2. 年齢

20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答
1人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	2人	1人
16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	16.7%

問3. 性別

男	女	無回答
2	3	1
33.3%	50.0%	16.7%

問4. 地域バスの利用回数

1回	2回	3回	4回	無回答
1	1	0	1	3
16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	50.0%

問5. 利用目的

通勤	通学	通院	買い物	娯楽	帰宅	試乗	その他	無回答
0	0	2	1	2	1	0	2	1
0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%

問6. 往路・復路の交通手段

地域バス	自家用車	その他	無回答
2	4	1	1
25.0%	50.0%	12.5%	12.5%

問7. 普段の移動手段

路線バス	自動車(運転)	自動車(送迎)	バイク	自転車	徒歩	その他	無回答
2	3	3	0	0	0	0	0
25.0%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

路線バス・ローズバスに関する職員アンケート【速報版】

○【実施概要】

【調査方法】

- ・市役所の各課へアンケート依頼(市民病院・消防・保育所等の外部職場を含む)

【調査期間】

- ・2020(令和2)年7月20~7月31日

【対象】

- ・岸和田市役所職員 及びその家族(1名)

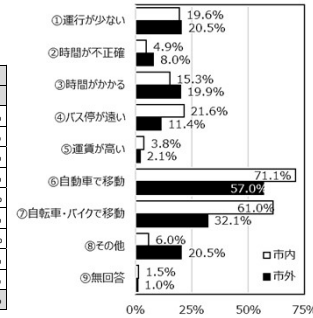
アンケート回収数 職員：1169

家族：273

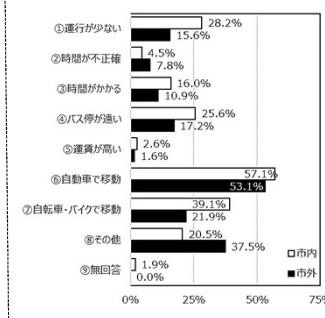
バスを利用していない理由を教えてください。(3つまで選択)

	市内在住		市外在住	
	集計	割合	集計	割合
①運行少	128	19.6%	79	20.5%
②不正確	32	4.9%	31	8.0%
③時間	100	15.3%	77	19.9%
④バス停遠	141	21.6%	44	11.4%
⑤運賃高	25	3.8%	8	2.1%
⑥自動車	465	71.1%	220	57.0%
⑦自転車・バイク	399	61.0%	124	32.1%
⑧その他	39	6.0%	79	20.5%
⑨無回答	10	1.5%	4	1.0%
回答数	654	100.0%	386	100.0%

本人



家族

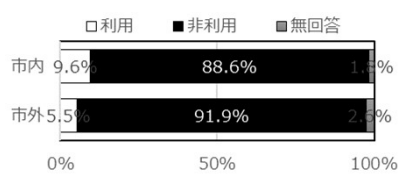


	市内在住		市外在住	
	集計	割合	集計	割合
①運行少	44	28.2%	10	15.6%
②不正確	7	4.5%	5	7.8%
③時間	25	16.0%	7	10.9%
④バス停遠	40	25.6%	11	17.2%
⑤運賃高	4	2.6%	1	1.6%
⑥自動車	89	57.1%	34	53.1%
⑦自転車・バイク	61	39.1%	14	21.9%
⑧その他	32	20.5%	24	37.5%
⑨無回答	3	1.9%		0.0%
回答数	156	100.0%	64	100.0%

路線バスもしくはローズバスを利用していますか。

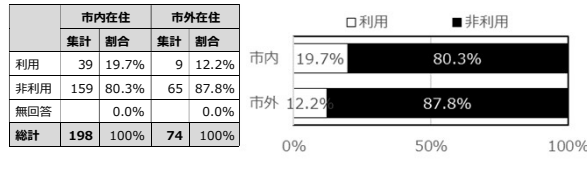
本人

路線バス及びローズバス

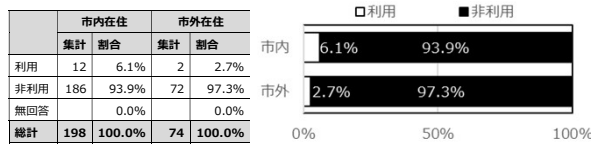


家族

路線バス

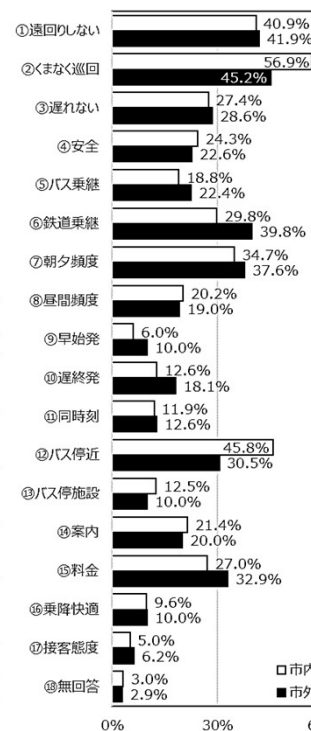


ローズバス

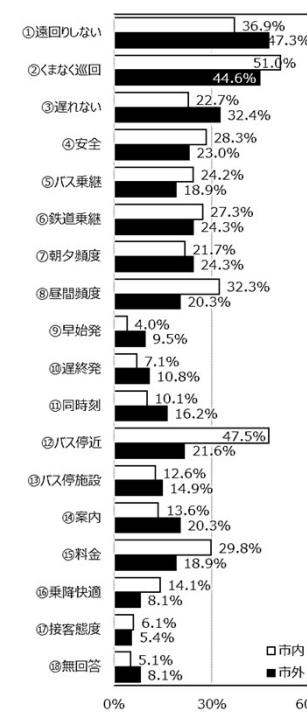


ローズバスを利用するために重要と思うものを教えてください。(5つまで選択)

本人



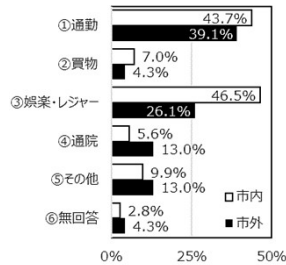
家族



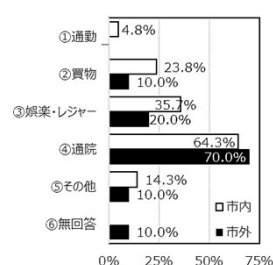
	市内在住		市外在住	
	集計	割合	集計	割合
①遠回りしない	73	36.9%	35	47.3%
②くまなく巡回	101	51.0%	33	44.6%
③遅れない	45	22.7%	24	32.4%
④安全	56	28.3%	17	23.0%
⑤バス乗継	48	24.2%	14	18.9%
⑥鉄道乗継	54	27.3%	18	24.3%
⑦朝夕頻度	43	21.7%	18	24.3%
⑧昼間頻度	64	32.3%	15	20.3%
⑨早始発	8	4.0%	7	9.5%
⑩遅終発	14	7.1%	8	10.8%
⑪同時刻	20	10.1%	12	16.2%
⑫バス停近	94	47.5%	16	21.6%
⑬バス停施設	25	12.6%	11	14.9%
⑭案内	27	13.6%	15	20.3%
⑮料金	59	29.8%	14	18.9%
⑯乗降快適	28	14.1%	6	8.1%
⑰接客態度	12	6.1%	4	5.4%
⑱無回答	10	5.1%	6	8.1%
回答数	198	100.0%	74	100.0%

バスの利用目的を教えてください。

本人

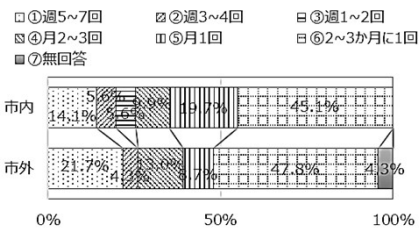


家族

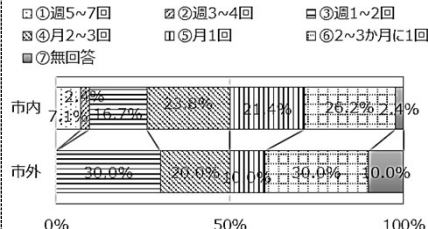


バスの利用頻度を教えてください。

本人



家族



	市内在住		市外在住	
	集計	割合	集計	割合
①遠回りしない	302	40.9%	176	41.9%
②くまなく巡回	420	56.9%	190	45.2%
③遅れない	202	27.4%	120	28.6%
④安全	179	24.3%	95	22.6%
⑤バス乗継	139	18.8%	94	22.4%
⑥鉄道乗継	220	29.8%	167	39.8%
⑦朝夕頻度	256	34.7%	158	37.6%
⑧昼間頻度	149	20.2%	80	19.0%
⑨早始発	44	6.0%	42	10.0%
⑩遅終発	93	12.6%	76	18.1%
⑪同時刻	88	11.9%	53	12.6%
⑫バス停近	338	45.8%	128	30.5%
⑬バス停施設	92	12.5%	42	10.0%
⑭案内	158	21.4%	84	20.0%
⑮料金	199	27.0%	138	32.9%
⑯乗降快適	71	9.6%	42	10.0%
⑰接客態度	37	5.0%	26	6.2%
⑱無回答	22	3.0%	12	2.9%
回答数	738	100.0%	420	100.0%

路線バス・ローズバスに関する職員アンケート【速報版】

○[実施概要]

【調査方法】

・市役所の各課へアンケート依頼(市民病院・消防・保育所等の外部職場を含む)

【調査期間】

・2020(令和2)年7月20~7月31日

【対象】

・岸和田市役所職員 及びその家族(1名)

アンケート回収数 職員：1169

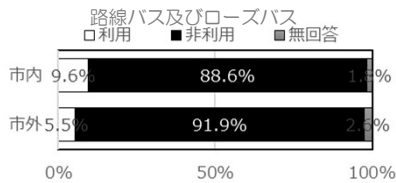
家族：273

路線バスもしくはローズバスを利用していますか。

本人

家族

路線バス



	市内在住		市外在住	
	集計	割合	集計	割合
利用	39	19.7%	9	12.2%
非利用	159	80.3%	65	87.8%
無回答		0.0%		0.0%
総計	198	100.0%	74	100.0%

ローズバス

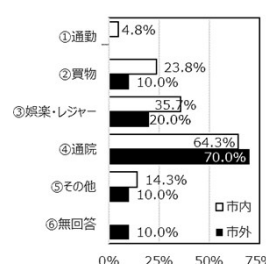
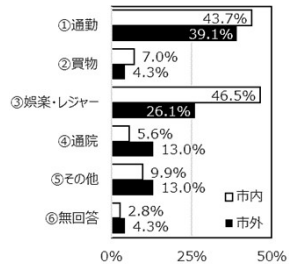
	市内在住		市外在住	
	集計	割合	集計	割合
利用	71	9.6%	23	5.5%
非利用	654	88.6%	386	91.9%
無回答	13	1.8%	11	2.6%
総計	738	100.0%	420	100.0%

	市内在住		市外在住	
	集計	割合	集計	割合
利用	12	6.1%	2	2.7%
非利用	186	93.9%	72	97.3%
無回答		0.0%		0.0%
総計	198	100.0%	74	100.0%

バスの利用目的を教えてください。

本人

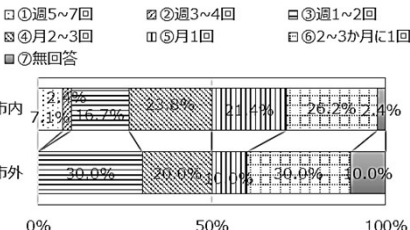
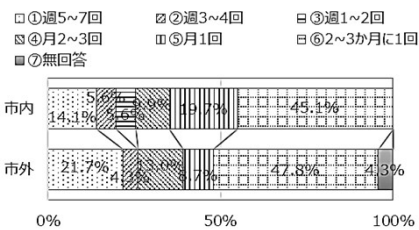
家族



バスの利用頻度を教えてください。

本人

家族

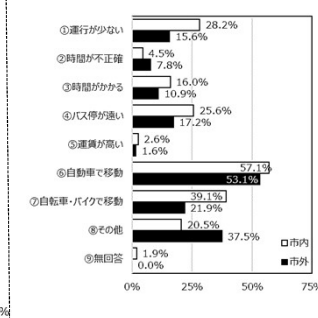
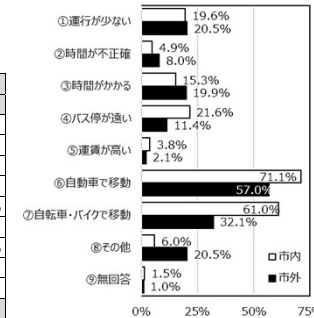


バスを利用していない理由を教えてください。(3つまで選択)

本人

家族

	市内在住		市外在住	
	集計	割合	集計	割合
①運行少	128	19.6%	79	20.5%
②不正確	32	4.9%	31	8.0%
③時間	100	15.3%	77	19.9%
④バス停遠	141	21.6%	44	11.4%
⑤運賃高	25	3.8%	8	2.1%
⑥自動車	465	71.1%	220	57.0%
⑦自転車・バイク	399	61.0%	124	32.1%
⑧その他	39	6.0%	79	20.5%
⑨無回答	10	1.5%	4	1.0%
回答数	654	100.0%	386	100.0%



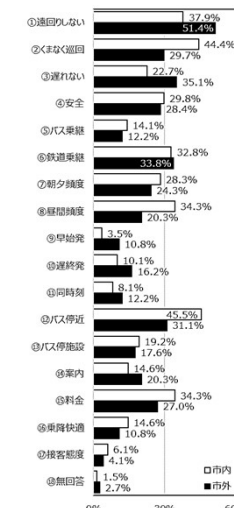
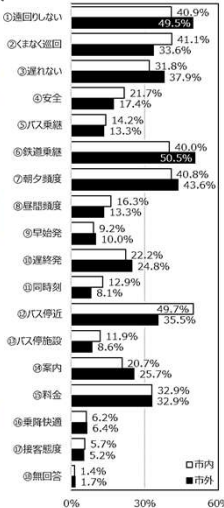
	市内在住		市外在住	
	集計	割合	集計	割合
①運行少	44	28.2%	10	15.6%
②不正確	7	4.5%	5	7.8%
③時間	25	16.0%	7	10.9%
④バス停遠	40	25.6%	11	17.2%
⑤運賃高	4	2.6%	1	1.6%
⑥自動車	89	57.1%	34	53.1%
⑦自転車・バイク	61	39.1%	14	21.9%
⑧その他	32	20.5%	24	37.5%
⑨無回答	3	1.9%		0.0%
回答数	156	100.0%	64	100.0%

路線バスを利用するために重要と思うものを教えてください。(5つまで選択)

本人

家族

	市内在住		市外在住	
	集計	割合	集計	割合
①遠回りしない	302	40.9%	208	45.1%
②くまなく巡回	303	41.1%	141	31.3%
③遅れない	235	31.8%	159	37.9%
④安全	160	21.7%	73	17.4%
⑤バス乗車	105	14.2%	56	13.3%
⑥鉄道乗車	295	40.0%	212	50.5%
⑦朝夕頻度	301	40.8%	183	43.6%
⑧経路頻度	120	16.3%	56	13.3%
⑨早始発	68	9.2%	42	10.0%
⑩遅終発	164	22.2%	104	24.8%
⑪同時刻	95	12.9%	34	8.1%
⑫バス停近	367	49.7%	149	35.5%
⑬バス停施設	88	11.9%	36	8.6%
⑭案内	153	20.7%	108	25.3%
⑮料金	243	32.9%	138	32.9%
⑯乗降快適	46	6.2%	27	6.2%
⑰接客態度	42	5.7%	22	5.2%
⑱無回答	10	1.4%	7	1.7%
回答数	738	100.0%	420	100.0%



	市内在住		市外在住	
	集計	割合	集計	割合
①遠回りしない	75	37.9%	38	51.4%
②くまなく巡回	88	44.4%	22	29.7%
③遅れない	45	22.7%	26	35.1%
④安全	59	29.8%	21	28.4%
⑤バス乗車	28	14.1%	9	12.2%
⑥鉄道乗車	65	32.8%	25	33.8%
⑦朝夕頻度	56	28.3%	18	24.3%
⑧経路頻度	68	34.3%	15	20.3%
⑨早始発	7	3.5%	8	10.8%
⑩遅終発	20	10.1%	12	16.2%
⑪同時刻	16	8.1%	9	12.2%
⑫バス停近	90	45.5%	23	31.1%
⑬バス停施設	38	19.2%	13	17.6%
⑭案内	29	14.6%	15	20.3%
⑮料金	68	34.3%	20	27.0%
⑯乗降快適	29	14.6%	8	10.8%
⑰接客態度	12	6.1%	3	4.1%
⑱無回答	3	1.5%	2	2.7%
回答数	198	100.0%	74	100.0%

ローズバスを利用するために重要と思うものを教えてください。(5つまで選択)

本人

家族

	市内在住		市外在住	
	集計	割合	集計	割合
①遠回りしない	302	40.9%	176	41.9%
②くまなく巡回	420	56.9%	190	45.2%
③遅れない	202	27.4%	120	28.6%
④安全	179	24.3%	95	22.6%
⑤バス乗車	139	18.8%	94	22.4%
⑥鉄道乗車	220	29.8%	167	39.8%
⑦朝夕頻度	256	34.7%	158	37.6%
⑧経路頻度	149	20.2%	80	19.0%
⑨早始発	44	6.0%	42	10.0%
⑩遅終発	93	12.6%	76	18.1%
⑪同時刻	88	11.9%	53	12.6%
⑫バス停近	338	45.8%	128	30.5%
⑬バス停施設	92	12.5%	42	10.0%
⑭案内	158	21.4%	84	20.0%
⑮料金	199	27.0%	138	32.9%
⑯乗降快適	71	9.6%	42	10.0%
⑰接客態度	37	5.0%	26	6.2%
⑱無回答	22	3.0%	12	2.9%
回答数	738	100.0%	420	100.0%

